



栗原市立金成小学校閉校記念誌



ありがとう
みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2014.03



あいさつ					
金成小学校の閉校に寄せて		栗原市長	佐藤 勇	1	
金成小学校の閉校に寄せて		栗原市教育委員会教育長	亀井 芳光	2	
故郷を愛し、誇りに思う心、心の原風景を糧に！！		栗原市立金成小学校校長	井上 正典	3	
閉校に寄せて		栗原市立金成小学校父母教師会会長	鈴木 勇太	3	
校歌				4	
学校の概要				5～6	
歴代校長				7～8	
金成小学校のあゆみ				9～11	
児童数の推移				12	
寄稿文					
～歴代校長～	金成小学校の閉校に寄せて	第4代校長	伊藤 三郎	13	
	金成小学校の4年	第4代校長	白鳥正四郎	13	
	思い出の記	第4代校長	菅原 稔	14	
	金成小学校の閉校に寄せて	第4代校長	鈴木 文清	14	
	金成小学校への思い	第4代校長	菅原 昭亮	15	
	金成小学校の閉校に寄せて	第4代校長	曾根健二郎	15	
	菊水文庫の誕生	第4代校長	吉田 求	16	
	子どもたちに助けられた講話	第4代校長	後藤 才治	16	
	金成小学校の閉校に寄せて	第5代校長	佐藤 鐵哉	17	
	金成小学校の閉校に寄せて	第5代校長	小野寺俊子	17	
	子どもを中心に 夢に向かい 共に歩んで	第5代校長	鎌田 清	18	
	金成小学校での思い出	第5代校長	高橋 啓悦	18	
～地域の方々～	成人タイムカプセル		菅原 一郎	19	
	金成小学校の閉校に寄せて		二階堂勝雄	19	
	木の温もりに包まれて		北山 祐子	19	
	パワーをもらって		菅原せつ子	20	
	金成小学校閉校に寄せて		川股 貞	20	
	金成小学校の閉校に寄せて		後藤みえ子	20	
	我が思い出の金成小学校		中村 庄樹	21	
	金成小学校の閉校に寄せて		酒井 貴浩	21	
	金成小学校の閉校に寄せて		熊谷 金午	21	
	旧金成小学校に学んで		鈴木 保	22	
	「情熱・愛情・感動」の教育をいつまでも		菅原 重悦	22	
	夢の跡		高橋 照義	23	
	金成小学校の閉校に寄せて		鈴木 弘	23	
	感謝		早坂 周英	23	
	金成小学校の閉校に寄せて		藤 広実	24	
	思い出は永遠に…		菅原 正博	24	
	私の思い出		金野 栄悦	24	
	用務員さんありがとうございました		菅原 伸	25	
	小学校の思い出		菅原 洋一	25	
	私の思い出		小野寺美智	26	
	私の思い出の金成小学校		熊谷 剛	26	
	金成小学校の閉校に寄せて		千葉 宗男	26	
	心の中にいつまでも		西島 眞幸	27	
	金成小学校の閉校に寄せて		千葉 恒喜	27	
	金成小学校の閉校に寄せて		後藤 勝正	27	
	畑分校		二階堂 一	28	
	金成小学校の閉校に寄せて		多田 善英	28	
	なつかしい小学校の思い出		橋本 俊吾	28	
	ありがとう、金成小学校		石川 和彦	29	
	金成小学校		千田真貴子	29	
	金小の思い出		渡邊 進	29	
	金成小で育った		大槻貴美夏	29	
	小学校の思い出		二階堂利巳	30	
	金成小学校の閉校に寄せて		高橋 光治	30	
	さようなら、金成小学校		近藤 克夫	30	
	金成小学校の閉校に寄せて		高橋 一久	31	
	思い出の金成小学校		佐藤 恵	31	
	ありがとう、そしてさようなら		金野あすか	32	
	金成小学校		二階堂誠也	32	
	金成小学校の思い出		小野寺綾音	32	
在校生寄せ書き				33～36	
思い出のアルバム				37～39	
あとがき				40	





金成小学校の閉校に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

金成小学校旧校舎は、現在金成歴史民俗資料館として活用しておりますが、宮城県から有形文化財建造物の指定をされ、今も温かく子どもたちを見守りながら、金成の歴史を在りし日の姿のままに現在に伝えております。この歴史と伝統ある金成の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきました金成小学校が閉校するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

明治6年に大成小学校として創立され、開校以来141年にわたる長い歴史をもつ金成小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと、地域の温かな目に見守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

恵まれた教育環境の中、学校及びPTAまた児童個人にわたり幅広い分野において多くの優良受賞をされており、多くの優れた人材を世に送り出し、県内外におきまして、広く御活躍されておりますことは、地域皆様の長年にわたる温かい御支援の賜であり、厚く御礼申し上げます。また、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力に対し、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、長い歴史のある金成小学校では、「夢がふくらむ、楽しい学校」の創造を目指し、「豊かな心と確かな学力を持ち、心身共にたくましく 主体的・創造的に生きる子どもの育成」を教育目標に、金成歴史民俗資料館をはじめ、数々の文化施設、体育施設などを活用しての学習活動を積極的に行うことで、郷土を知り、地域を愛する教育に力を入れ、思いやりや感謝、尊敬する心を育まれてきました。また、地域に開かれた学校を目指し、運動会や学芸会などはもとより、父母教師会主催の「まっすぐネット」など、独自の住民参加型行事を開催することで積極的に交流し、確かな信頼関係を築かれています。

保護者や地域の方々の学校に対する期待と関心は高く、金成地区の次代を担う子どもの成長を図る場として、奥州金成雅太鼓、けやきっ子太鼓、よさこいにも地域を挙げて取り組まれ、郷土文化に触れながら地域の皆様から御指導をいただくことで、地域からの児童と学校への期待も高まるとともに、児童にとっても地域の一員であるという自覚を高めてこられました。さらに、地域の期待の思いは金成地域安全安心隊の創設に至りました。子どもが被害に遭う事件・事故を防ぐため、日々巡回している頼もしいお姿は、私も何度も目にしております。地域の安全を守ると同時に、子どもたちにとっても安心感を与え、人と人との絆を深められました。

また、卒業生からの寄附で設立された菊水文庫もまた、地域の教育に対する関心の高さを物語っております。寄附者の意を汲み、その豊かな蔵書を図書室のみならず、教室や廊下へ配架する工夫。業前の読書タイムや、読書祭を開催するなど、教育に対する活用は、学習の基礎・基本となることはもちろんのこと、児童の心の成長にも大きく寄与したことと思います。

このように歴史と伝統ある金成小学校が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童減少などの背景から、栗原市においても学校の再編が避けられず、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで金成小学校を巣立った皆様にとって、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものがあると拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ金成の歴史と伝統が受け継がれていくようお願いいたします。

今後、『学府くりはら』の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、金成小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心から御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。



金成尋常高等小学校落成記念（明治43年）





金成小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会

教育長 亀井 芳光

奥州平泉文化や明治期の建造物等歴史的遺産の豊富な「歴史とロマンの地」に位置する金成小学校は明治6年、大成小学校として開校し、その後、明治12年、金成小学校と改称されるも、明治・大正・昭和・平成と激動する時代の変遷を乗り越え、141年の永きにわたり、時代の先駆者である鈴木文治先生をはじめ多くの優れた人材の育成はもとより、輝かしい歴史と伝統を培ってきた学校であります。その間、文化や芸術、伝統文化活動等の拠点として、地域の人々の「心のふるさと」としての役割を果たしてきました。

現在の金成小学校は、昭和55年新築され、現在の地に移転されていますが、明治43年に建てられた旧校舎は現在当時の姿で保存され、昭和54年に宮城県の有形文化財に指定され、民俗資料館として当時の面影を後世に伝えてくれています。

金成小学校は、各種の公開研究会の開催や陸上大会及び水泳大会でのめざましい活躍などをおして先進的な教育を進めてきました。近年では、県指定の「心をはぐくむ教育活動指定校」、「豊かな体験活動推進事業～体験活動推進地域推進校」の指定を受け、地域と一体となった教育活動にも大きな実績を残してくれました。更に、平成23年度は、学力向上に向けた校内研究の取り組みが認められ宮城県教育公務員弘済会共同研究の部の特選に浴するなど「学府くりはら」実現に向けて大きな成果をあげております。

しかしながら、このように地域と共に歩み続けてきた学校が、少子化による児童生徒数の減少や時代の流れの中で、平成26年4月、旧金成町内の五小学校は再編され、金成中学校と一体となる新生「金成小中一貫教育校」として現在の中学校敷地に新校舎を建設し、新たなスタートを切ることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました金成地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

学校再編は少子化による児童生徒数の減少への対応策のひとつでもあります。将来を担う子どもたちに、一定の集団の中で切磋琢磨しながら自立と共生の基礎を培っていくための施策であります。急激に変化していく社会や国際化の波の中で、たくましく生き抜いていくための力を身に付けさせていくことは私たち大人に課せられた責務であり、学校再編は避けては通れない一つの道であります。

校名は金成小学校となりますが、再編にあたっては、これまでの金成小学校を閉校とし、5つの小学校が一緒になった新たな金成小学校として市内で初めての小中一貫教育校としてスタートを切ることになります。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた金成小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくださることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会はじめ関係機関との連携が大切です。新たに仲間となる沢辺小学校・萩野小学校・萩野第二小学校・津久毛小学校の子どもたち、保護者、地区の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれる新しい学校を創り上げていただきたいと思います。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり金成小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



増築落成記念（大正13年）

**故郷を愛し、誇りに思う心、心の原風景を糧に!!**

栗原市立金成小学校

校長 井上 正典

明治6年旧三迫代官所跡に大成小学校が、常福寺を仮校舎に畑小学校が創立して以来、141年という歴史が刻み込まれた金成小学校。開校以来、社会に多くの逸材と人材を輩出してまいりました。村・町・市そして日本のためにと貢献し、その意義存在感を示され、それが金成小学校の伝統として有形無形に伝えられ引き継がれてまいりました。校長室に残された沿革や写真、資料を見るたびにその歴史の重みを、豊かさを、そして、人々が脈々と紡いでこられた地域コミュニティ、地域の心の絆のすばらしさを実感させられます。

グローバルな社会で活躍する人財を育てるには、郷土を愛し、誇りに思う心を育むことが重要であると言われていきます。古くから宿場町として栄え、東館、白山神社、ハリストス教会、ゲンジボタル等の歴史的遺産・自然遺産に象徴される深い歴史、豊かな文化そして美しい自然の薫る金成。菅原南山、鈴木文治、千葉熊治等、時代の先駆者を生んできた風土。そして、これらを背景に脈々と育まれてきた豊かな人々の心の絆、地域コミュニティ、ソーシャル・キャピタルのすばらしさ。

平成26年3月、閉校。そして4月、新しい金成小学校が誕生します。子どもたちには、いつまでも、このようなすばらしい故郷を愛し、誇りに思う心を糧とし、自信を持って「自らを鍛え、磨き、その無限の可能性を大きく開花させてほしい」「どんな困難でもたくましく乗り越える力を身に付けてほしい」と願っております。そして「輝かしい未来に向かって大きく飛翔してほしい」と願っております。心の原風景と共に…。

**閉校に寄せて**

栗原市立金成小学校父母教師会

会長 鈴木 勇太

141年、多くの卒業生を送り出した金成小学校がその歴史の幕を閉じようとしています。私も卒業生の一人ですが、子どもたち、また学校に携わった歴代校長先生を始め、先生方、そして地域の皆様もそれぞれの思い出があることでしょう。平成26年には金成地区の五つの小学校が金成中学校と統合し、金成小中一貫教育校が誕生します。

子どもたちの中には閉校を惜しむ子もいれば、新しい環境を不安に思っている子もいることでしょう。ですが、そんな悩みは無用です。皆、1年生の時は右も左も分からなかったのに、今では楽しい仲間たちや優しい先生方と毎日楽しい時間を過ごしています。そんな皆さんだから私は心配無用だと思います。新たに仲間になる友達皆と、もっともっと楽しい時間が新しい学校には待っています。

今まで、この金成小学校で作ってきた思い出以上に、楽しい思い出を作してほしいと願っています。そして、私たち保護者も金成小中一貫教育校を子どもたちにとって、不安を感じることなく落ち着いて勉強や遊びに励める環境作りをしていこうと考えています。それには、今まででもご理解、ご協力頂いてきた、地域住民の皆様にも変わらぬご愛顧の程、よろしく願い申し上げます。また、保護者の皆様もPTA活動に変わらぬご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、子どもたちに更なる金成の歴史を築いてもらい、明るい未来を作ってほしいと願います。



栗原市立金成小学校 校歌

長谷 清雄 作詞
長谷 清雄 作曲

明るく生き生きと ♩ = 120 位

く りー こ ま や ま の い た ー だ き に
あ さ あ け の か ぜ ひ か ー っ て る
き よ う も な か よ く て を ー く ん で
み ん な げ ん き で は げ ー も う よ
らん らん らん らん あ か る い か ん な り し ょ う が つ こ う

一、栗駒山の いただきに

朝あけの風 光っている

きょうも仲よく 手をくんで

みんな 元気で励もうよ

明るい 金成小学校

二、小褌の川の せせらぎに

豊かな夢が 浮かんでいる

きょうも清らに 手をくんで

みんな 揃って学ぼうよ

輝く 金成小学校

三、金鶏ゆかりの ふるさとに

遠い歴史が 薫ってる

明日の日本 築くため

みんな よい子に伸びようよ

希望の 金成小学校

昭和三十六年十一月 制定



学校の概要

学区の概要

国道4号線に沿い、かつては宿場町として栄え、奥州平泉文化や、明治期の建造物等歴史遺産の豊富な「歴史とロマンの町」を掲げる地域である。近年、学区南側には大型店が進出し、北には金成温泉（延年閣）ができ、にぎわいを増している。

旧金成町から平成17年4月1日より「栗原市」となり、新たな市（街）づくりを進めていこうとしている。栗原市学校再編計画（平成20年3月策定）では、金成地区内各小学校においては、平成24年度までに再編計画を推進し、平成25年度に金成地区の小学校5校を再編し金成中学校校舎に小中一貫教育校を創設する予定である。本校141年の歴史に幕を引く1年となる。児童数は年々減少してきており、平成17年度に100名をきり今年度は59名である。子どもたちは素直で明朗快活で向上心に富んでおり、各種活動や学習面に力を発揮している。

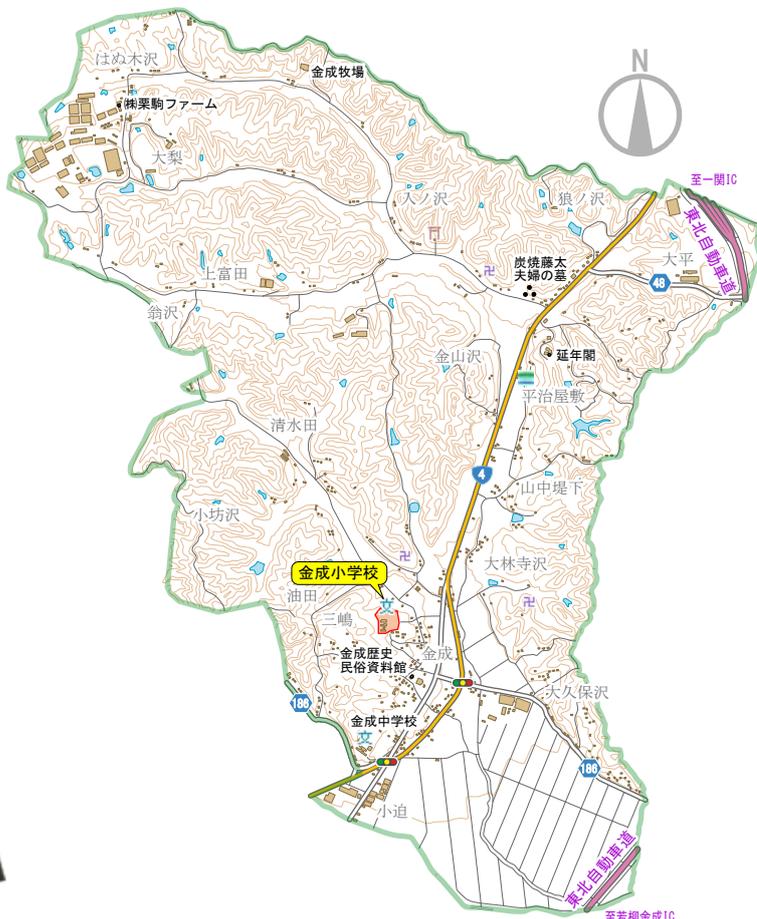
家庭は三世代家族が比較的多く、両親共働きがほとんどである。祖父母の養育態度と両親の子どもの教育について学校が十分に連携を図る必要性が増してきているが、PTA活動等において、創意に満ちたものとなってきている。

学区民は学校教育に対して深い理解と関心をもち、スクールボランティアや地区安全安心隊を設立するなど学校への協力を惜しまない地域である。

旧金成小学校校舎は、明治43年に建てられ、建築学上価値のあるものとして県並びに市の有形文化財の指定を受けている。



学区略図



校章と校旗



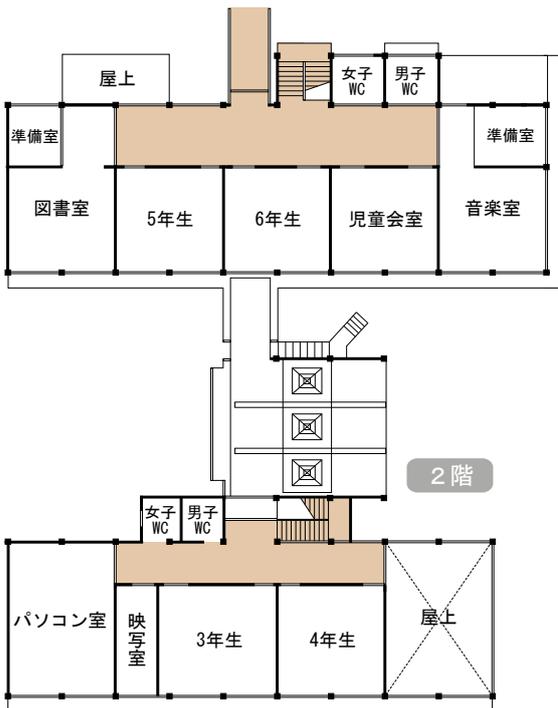
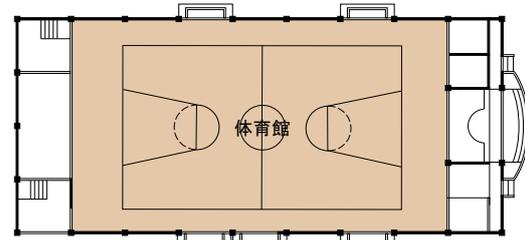


校舎のようす

学校平面図



校舎配置図





歴代校長



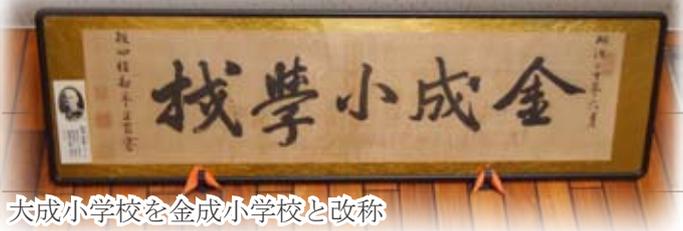
- | | | | |
|------|--------|----|-------------------|
| 初代 | 八谷 要蔵 | 校長 | 明治6年8月～明治8年1月 |
| 第2代 | 赤城要右衛門 | 校長 | 明治8年8月～明治9年3月 |
| 第3代 | 八谷 要蔵 | 校長 | 明治9年4月～明治9年12月 |
| 第4代 | 新妻源二郎 | 校長 | 明治10年1月～明治10年5月 |
| 第5代 | 小野 清敬 | 校長 | 明治10年6月～明治10年9月 |
| 第6代 | 鈴木綾之助 | 校長 | 明治10年10月～明治11年5月 |
| 第7代 | 菊地 圓 | 校長 | 明治11年6月～明治11年9月 |
| 第8代 | 赤塚 環 | 校長 | 明治11年10月～明治12年4月 |
| 第9代 | 山下 一氏 | 校長 | 明治12年5月～ |
| 第10代 | 久世 信古 | 校長 | |
| 第11代 | 鈴木 綱助 | 校長 | 明治13年8月～明治15年9月 |
| 第12代 | 荒木田弓三郎 | 校長 | 明治15年10月～明治15年12月 |
| 第13代 | 平田篤之助 | 校長 | 明治16年1月～明治17年6月 |
| 第14代 | 森下 作蔵 | 校長 | 明治17年7月～明治17年10月 |
| 第15代 | 細川与八郎 | 校長 | 明治17年11月～明治23年4月 |
| 第16代 | 秀城竹三郎 | 校長 | 明治23年5月～明治24年4月 |
| 第17代 | 眞山 元 | 校長 | 明治24年5月～明治25年3月 |
| 第18代 | 大槻小五郎 | 校長 | 明治25年4月～明治28年3月 |
| 第19代 | 菊地 俊治 | 校長 | 明治28年4月～明治30年1月 |
| 第20代 | 大野与四郎 | 校長 | 明治30年2月～明治31年5月 |
| 第21代 | 高橋雄一郎 | 校長 | 明治31年6月～明治33年1月 |
| 第22代 | 松坂 清貞 | 校長 | 明治33年2月～明治34年3月 |
| 第23代 | 菅原新兵衛 | 校長 | 明治34年度～明治39年度 |
| 第24代 | 菅原 臣六 | 校長 | 明治40年4月～大正5年11月 |
| 第25代 | 遠藤 良七 | 校長 | 大正5年12月～大正8年10月 |
| 第26代 | 佐々木 潔 | 校長 | 大正8年11月～大正11年10月 |
| 第27代 | 阿部倉之助 | 校長 | 大正11年11月～大正12年6月 |
| 第28代 | 猪又 清志 | 校長 | 大正12年7月～昭和4年3月 |
| 第29代 | 佐々木俊一郎 | 校長 | 昭和4年度～昭和5年度 |
| 第30代 | 棟方久太郎 | 校長 | 昭和6年度～昭和9年度 |
| 第31代 | 菅原 哲 | 校長 | 昭和10年度～昭和12年度 |
| 第32代 | 小畑 龜吉 | 校長 | 昭和13年度～昭和15年度 |
| 第33代 | 菅原 泰顕 | 校長 | 昭和16年度～昭和18年度 |



- 第34代 高橋 勝利 校長 昭和19年度～昭和20年1月
第35代 二階 村男 校長 昭和20年2月～昭和21年度
第36代 藤巻 省吾 校長 昭和22年度～昭和24年度
第37代 鈴木 健吾 校長 昭和25年度～昭和29年12月
第38代 松本 千里 校長 昭和30年1月～昭和32年度
第39代 千葉 英雄 校長 昭和33年度～昭和40年度
第40代 熊谷 輝雄 校長 昭和41年度～昭和47年度
第41代 佐藤 晃雄 校長 昭和48年度～昭和51年度
第42代 伊藤 三郎 校長 昭和52年度～昭和56年度
第43代 白鳥正四郎 校長 昭和57年度～昭和60年度
第44代 菅原 稔 校長 昭和61年度～昭和63年度
第45代 鈴木 文清 校長 平成元年度～平成2年度
第46代 菅原 昭亮 校長 平成3年度～平成4年度
第47代 曾根健二郎 校長 平成5年度～平成6年度
第48代 吉田 求 校長 平成7年度～平成8年度
第49代 後藤 才治 校長 平成9年度～平成11年度
第50代 佐藤 鐵哉 校長 平成12年度～平成13年度
第51代 小野寺俊子 校長 平成14年度～平成16年度
第52代 鎌田 清 校長 平成17年度～平成20年度
第53代 高橋 啓悦 校長 平成21年度～平成23年度
第54代 井上 正典 校長 平成24年度～平成25年度





年	歴代校長	児童数	歴代父母教師会長	沿革概要	
明治	6 初 八谷 要蔵			大成小学校創立（旧三迫代官所跡） 畑小学校創立（常福寺を仮校舎に当てる）	
	8 2 赤城要右衛門				
	9 3 八谷 要蔵			明治天皇東北巡幸の際に御休憩所となる	
	10	4 新妻源二郎			
		5 小野 清敬			
		6 鈴木綾之助			
	11	7 菊地 圓			大成小学校を金成小学校と改称
		8 赤塚 環			
	12	9 山下 一氏			
		10 久世 信古			
	13	11 鈴木 綱助			
	15	12 荒木田弓三郎			金成小学校を金成中等小学校と改称
	16	13 平田 篤之助			
	17	14 森下 作蔵			
		15 細川 与八郎			
20				金成中等小学校校舎新築（代官所跡）	
21				高等科を設置し金成尋常高等小学校と改称 金成尋常高等小学校畑分教場を置く	
22				高等科を廃し金成尋常小学校と改称	
23	16 秀城竹三郎			高等科を設置し金成尋常高等小学校と改称	
24	17 眞山 元				
25	18 大槻小五郎				
26				高等科を廃し金成尋常小学校と改称	
28	19 菊地 俊治				
30	20 大野与四郎				
31	21 高橋雄一郎			金成尋常小学校に組合立金成高等小学を併設する （金成・津久毛・有賀の三か村立、33年に澤邊村が加入する） 畑分教場校舎新築（畑宮前三番地）	
32					
33	22 松坂 清貞				
34	23 菅原新兵衛				
40	24 菅原 臣六				
42				金成尋常小学校に金成実業補習学校を併置 畑分教場焼失	
43				組合立を解き、高等科を設置し金成尋常高等小学校と改称	
44				金成尋常高等小学校校舎新築 畑分教場校舎新築	
大正	5 25 遠藤 良七				
	8 26 佐々木 潔				
	11 27 阿部倉之助				
	12 28 猪又 清志				
昭和	4 29 佐々木俊一郎			金成青年学校を併設する 高等科卒業記念（大正13年3月） 国民学校令施行により金成国民学校と改称 同じく金成国民学校畑分教場となる	
	6 30 棟方久太郎				
	10 31 菅原 哲				
	13 32 小畑 亀吉				
	16 33 菅原 泰顕				
	19 34 高橋 勝利				
	20 35 二階 村男				



年	歴代校長	児童数	歴代父母教師会長	沿革概要	
昭和	22 36 藤巻 省吾	495		金成国民学校を金成小学校と改称し金成中学校を併設する 同時に金成小学校畑分教場となる	
			初 鈴木 太郎	父母教師会結成	
	23	541		金成中学校校舎新築移転（字上町西裏 57 番地）	
	24	518			
	25	511			
	26 37 鈴木 健吾	526	2 鈴木 次郎		
	27	438			
	29	399			
	30	澤邊・金成・萩野・津久毛の4カ村が合併し金成町が誕生する			
		38 松本 千里	444	3 武田 義雄	金成町立金成小学校と改称 (統廃合は行わないで現在地に存置する)
31		415			
32		457			
33 39 千葉 英雄	494				
34		507			
35		472	4 竹内 洸	「へき地教育」研究指定公開（畑分教場）	
36		454		校歌制定	
37		453		「修学旅行における事故防止」研究指定公開	
38		421	5 金野 榮悦	特殊学級設置	
39		323			
40		320	6 鈴木 清吉	校旗制定	
41 40 熊谷 輝雄	296			校長室新設	
42		265		「特別活動」研究指定公開	
43		244		畑分教場閉校	
44		218		プール竣工	
45		202			
46		184	7 二階堂利巳		
47		176	8 高橋 惣一	「交通安全教育」研究指定公開	
48 41 佐藤 晃雄	155			文部大臣賞受賞（学校安全協力校）	
49		144	9 千葉 正義		
50		148			
51		127			
52 42 伊藤 三郎	133	10 及川 直志			
53		129			
54		127			
55		130		校舎新築移転（金成町字台畑 23 の 1）	
56		141	11 小野寺誠吉		
57 43 白鳥正四郎	151			自転車置き場設置	
58		160	12 佐々木徳一		
59		161	13 狩野 忠司	NHK 音楽コンクール優良校	
60		167		NHK 音楽コンクール優良校	
61 44 菅原 稔	166				
62		170	14 佐藤 義人		
63		175			
平成	元 45 鈴木 文清	170	15 鈴木 弘	特殊学級を解く	
	2	174		「福祉教育」発表校（町社教指定）	
	3 46 菅原 昭亮	170	16 多田 善英	「道徳教育」研究指定公開（町教委）	



4 村合併調印式



プール竣工式



プール竣工

プール竣工（昭和44年度）



収穫祭（昭和49年度）



年	歴代校長	児童数	歴代父母教師会長	沿革概要
平成	4	175		ロックライミング塔設置
	5	163	17 高橋 光治	奥州金成雅太鼓継承活動開始
	6	160		特殊学級設置
	7	161	18 佐々木 俊	「菊水文庫」設立（清水賢作氏寄贈）
	8	147		郡小学校水泳大会女子優勝 コンピュータ室設置
	9	140	19 菅原 伸	校舎及び通路に障害者用の設備を する 授業の一部に社会人を登用 する
	10	124		「学習指導」研究指定公開（町教委）
	11	121	20 近藤 富孝	学校花壇コンクール優良賞受賞
	12	115	50 佐藤 鐵哉	FF暖房・空間設備設置 みやぎ花いっぱいコンクール優良賞
	13	101	21 猪苗代 充	「国語」研究指定公開（町教委） 「心をはぐくむ教育活動推進校」発表（県・町教委指定）
	14	92	51 小野寺俊子	町下水道完備 学校給食開始
	15	93		町内イントラネット稼働 宮城県北部連続地震発生
	16	100	22 石川 和彦	ことばの教室開設
	17	92	52 鎌田 清	栗原市立金成小学校と改称 特別支援学級（青空）開設
	18	84	23 高橋 一久	豊かな体験活動推進事業・体験活動推進地域推進校（～19年 文部科学省指定） 第1回学校・地区民合同運動会開催 「さよならくりでん全校遠足」
	19	81		金成地域安全・安心隊設立 「全校栗駒山登山」 自主公開研究会「表現力育成」 若柳警察署長より感謝状
	20	82		岩手・宮城内陸地震発生 全校遠足「伊豆沼遊覧」 第2回自主公開研究会
	21	75	24 高橋 照義	新規パソコン 38 台導入 新型インフルエンザ流行 臨時休業 白鳥省吾賞小中学生の部最優秀賞 若柳警察署長より感謝状
	22	67	25 渡邊 進	特別支援学級（青空）開設 宮城県教育公務員弘済会共同研究論文特選
	23	71		東日本大震災 震災のため学校単独で運動会開催 白鳥省吾賞小中学生の部優秀賞 再編に向け児童交流活動を実施する 「学力サポートプログラム」（県教委指定）
	24	66	26 鈴木 勇太	第6回学校・地区民合同運動会開催 再編に向け児童交流活動を実施する 白鳥省吾賞小中学生の部最優秀賞
	25	59		再編に向け児童交流活動を実施する 閉校記念式典挙行（平成26年3月16日）



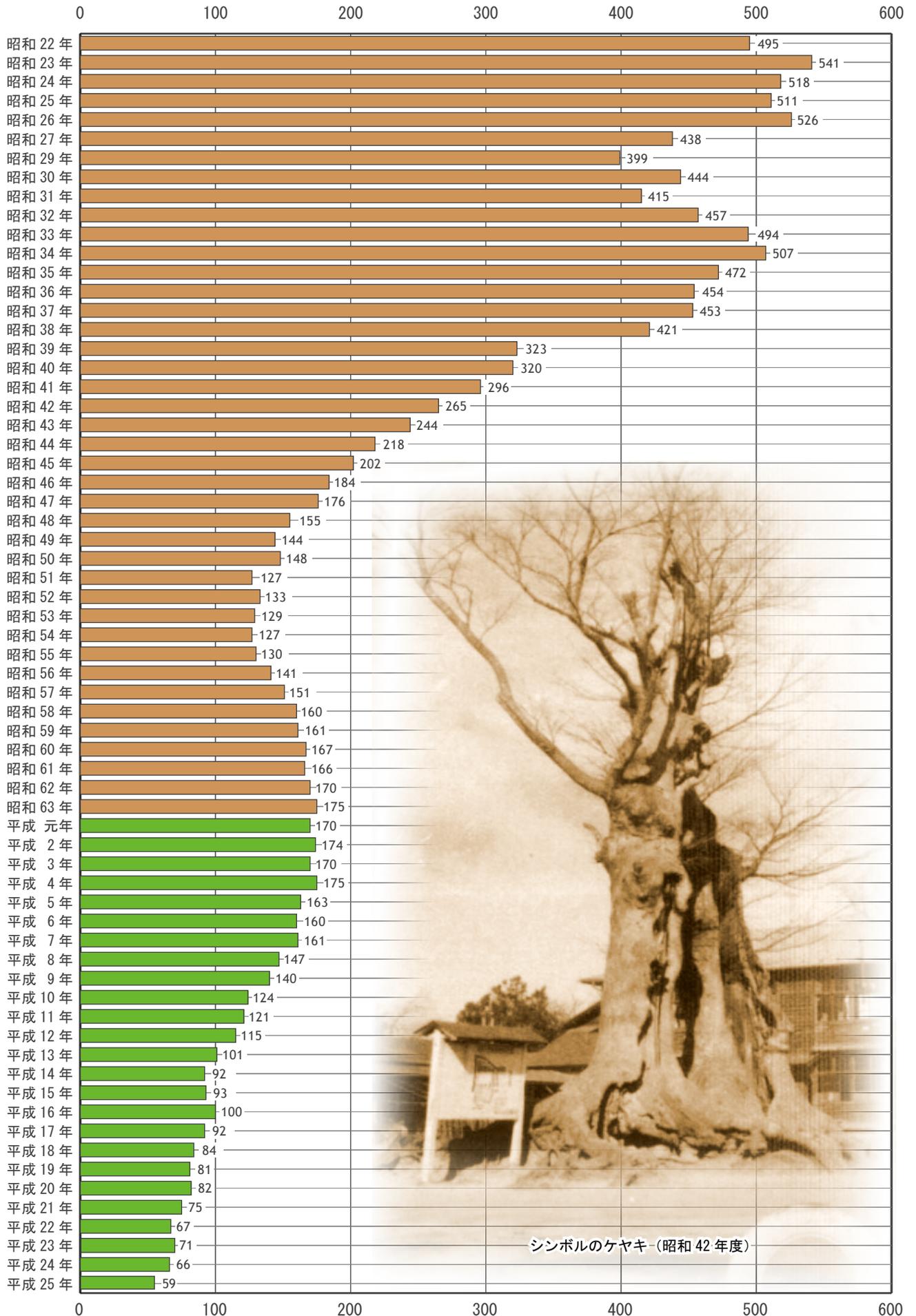
収穫祭
(平成10年度)



自主公開（平成20年度）



児童数の推移



シンボルのケヤキ(昭和42年度)



金成小学校の閉校に寄せて

第42代校長 伊藤 三郎

校舎新築移転にまつわる強烈な思い出から取り上げてみたい。

父母、教職員、児童はもとより、町当局、教委、関係諸団体、地区民多数参列の「引っ越し街道行進。」後尾には引っ越し荷物満載各家庭自家用トラックが幾台も続行。さて、大型トラックで新校舎まで運搬されたグランドピアノをいかにして3階音楽室まで運び上げるかの大難題に直面。「みんなして一気に運び上げるほかあんめっちゃ！」ほんだほんだとわらわら決行に取り掛かり、汗だくの壮挙に大万歳!!「為せば成るもんだなや」一実感のこもった自賛—

あれから30数年、居合わせた人々は、成し遂げるまでの「瞬時の強い心と力の連続発露」を忘れ去ることはないだろう。だから、この「ピアノ事件？」大成功の要因は、新校舎竣工の喜びに沸くPTAの後日談として大受けだったとのこと。「親だもの、子どもの教育のためならば当然…。」「新校舎の床は固かったのが幸い。」そして意外な発言は、「引っ越しそば」の心理的効果を強調される一説で以下のとおり。『パレードに参列がかなわず旧校舎の後片付けを黙々と続けられる父母・児童に、PTA役員の発想で急きょ振る舞われた即席立ち食いそばのあたたかさ。町内外からゆでそばと出汁の買い出し。「ひのき」の名木の見守る校庭で「片付け隊」だけの出発式。やる気満々のファイトを醸し出したのは、一杯の引っ越しそばの大効果さ』と笑い飛ばす。



新校舎にて（昭和56年度）

どれもが大正解、百点満点で一同まず一安堵の出発となった。紙面の都合で沢山の割愛のこと深謝します。

金成小学校の4年

第43代校長 白鳥 正四郎

昭和57年春、金成小学校勤務の命を受け引き継ぎのため金成に赴くと、町の外れの小高い丘にきれいな建物が見え、近くに寄ってみると二棟建ての校舎があり、そこが開校2年目の真新しい金成小学校でした。



スキー教室（昭和57年度）

新学期が始まると、外では児童、教師全員朝の校内マラソン、内では屋体で朝夕合唱の猛練習とこれらは毎日の行事でした。また、放課後にはPTAの方々のご指導もあり、少年野球の練習に汗を流していました。また、栗駒山でのスキー教室の帰り道、バスがスリップ。背筋の凍る思いをしましたが、全員無事帰校できてよかったです。新しい学校に学んで、明るく元気でやる気のある子どもの成長を願いながらの毎日でした。

理解があり協力的な方々に支えられての4年間、本当に幸せでした。ご支援いただいたすべての皆様に深く感謝です。



思い出の記

第44代校長 菅原 稔

3年間勤めた金成小学校を去って、既に二十有余年も過ぎ、その当時の記憶もどんどん薄らいできております。私は母校に勤める幸せとその責任を痛切に感じ、心の引き締まる思いで赴任しました。当時のことを思い起こすと、今尚胸が熱くなります。

全校児童は170名前後でした。明朗快活純心で心身たくましく、自分の目標に向かって努力を惜しまない子どもたちでした。教育熱心で協力的な父母や地域の皆さんに支えられると共に、やる気十分の先生方に囲まれ、また、なにかにつけていつも支援と指導をしてくれる町教委であるので本当に助かりました。子ども一人一人の学習への取り組み、喜びと成就感を味わい、確かな学力が身につく豊かな授業の創造。児童と教師の望ましい人間的なふれあい、そして、きめ細かな実践などが思い浮かびます。始業前の朝マラソン、プールに入れないう子の指導、全校縦割りグループでの活動は活気に満ちておりました。



入学式（昭和62年度）

金成小学校はとても楽しい学校、勤めがいのある実にすばらしい学校でした。時代の流れに逆らうわけにも行かず、適正規模云々で閉校のこと、極めて残念です。

この度、閉校記念誌を刊行のこと、心からお祝い申し上げます。小中一貫教育校としての発足も間近、今後の限りない発展を祈念しております。

金成小学校の閉校に寄せて

第45代校長 鈴木 文清

私は、縁あって金成小学校には二度お世話になりました。一度目は、昭和30年4月より7年間、今、歴史資料館になっている小学校でした。児童数が500人近くで西側の裏教室は勿論、狭い図書室も教室として使用していました。2階の裏教室は5年生の割り当てでした。暗くて冬の寒さは格別でした。西風が強くて、煙突の煙が逆流し教室中が煙でいっぱいになり、授業にならず亜炭ストーブを消して寒さに震えながら授業したこともありました。また、当時は温飯器などというものがあり、二校時が終わるとその温飯器で弁当を温めました。四校時頃になると弁当のそれぞれのおかずの匂いが教室中に広がりひどいものでした。特にたくあんのは匂いには閉口でした。地区民から寄付をあおいでグランドピアノを購入し、NHKの合唱コンクールに参加したことも忘れられない楽しい思い出の一つです。



NHK 全国学校音楽コンクール（平成2年度）

二度目に赴任したのは、30年後の平成元年の4月より2年間、児童数は百人を少し越えた人数でした。教え子たちがPTAの幹部になっていました。そのPTAと有能なすばらしい先生方に支えられて楽しい有意義な2年間を過ごすことができたことをこの上ない幸せと深く感謝しています。

日頃暮らしていても子どもたちの遊び声が聞けなくなり淋しい思いをしていました。時代の流れとは申せ明治6年開校の金成小学校が長い141年の歴史に幕を閉じなければならなくなったことが非常に残念です。



**金成小学校への思い**

第46代校長 菅原 昭亮

金成小学校がルーツである、栗原市金成歴史民俗資料館。(以下資料館)

旧金成小学校は、昭和54年、県有形指定文化財に指定された。

120年もの長きにわたって多くの児童を見守り続けてきた学び舎は、7つの展示室を設け、金成の歴史、文化、先人の偉業を紹介する資料館として公開している。

これを機会に全国各地から多くの入館者が訪れている。

都会の入館者は、資料館の飴色光沢のある柱や床、木の柔らかさと温もり、中廊下方式の教室配置などに魅了され、こんな木造校舎で学びたい、幸せだろうなど思いを増幅させていた。

時には、卒業された同級生、子や孫達と共に母校を訪ねる入館者もいて、当時の状況を話し合っていた。

ケヤキの木の下での青空教室、寺院での学習と遊び、7本のケヤキの樹間周回運動会、教室の配置、北校舎、分校舎など、懐かしい思い出が甦ってくるのだろう。

また、写真を撮り続けていた家族は、数百年も経つ巨大なケヤキの根っこに座り込んで、「デコボコ根っこのケヤキの木」と思わず口ずさむ微笑ましい光景も見られた。

このように、学び舎、学校での活動、ケヤキなどは思い出の残るものであり、心の拠り所なのだろう。いつでも快く迎え入れてくれる聖地かもしれません。

この聖地である資料館とそれを取り巻く環境を地域社会の文化遺産として、これからも大切にしていきたいと思う。

栗原市金成歴史民俗資料館

**金成小学校の閉校に寄せて**

第47代校長 曾根 健二郎

「金成小」のことばを聞くと、昭和50年赴任した当時の情景が、昨日の事のように思い起こされる。大地をがっちり捉え、長い歴史を感じさせる威風堂々の櫛の木、モダンな欄干に囲まれたバルコニー、子どもの姿が映るまでに磨き上げられた黒光りの廊下と滑り落ちて怪我のしない角が見事にすり減った階段など、現存している校舎で過ごした3年間。

私は、子どもたちと真摯に向き合うことができたと思っている。今でも担任した子どもたちの顔と名前と活動の様子が鮮明に思い出される。

金成小に再び赴任したのは、16年後の平成5年である。在任2年間の中で特記すべきことは、「奥州金成雅太鼓」演奏で郡音楽祭への初めての参加である。

学校では、集団活動「けやきっ子タイム」の充実強化を掲げ、地域との関わりを大切にしながら、



奥州金成雅太鼓 (栗原市小中学校音楽祭)

熱心に取り組んだ活動である。「奥州金成雅太鼓」同好会の心温かい指導を受けて2年。5年生28名は、真新しい赤い袴纏をきりと締め、郡音楽祭での初舞台で堂々の演技を披露することができ、会場からの拍手には、万感の笑みで応えながら終えることができた。

今後は、金成小中一貫教育校の成果と発展を楽しみにしていきたいと思う。



菊水文庫の誕生

第48代校長 吉田 求

赴任して間もない4月の中旬、本校卒業生で現在は東京在住の清水賢作さんから、「退職の記念に母校金成小の子どもたちのために、図書関係の充実の資金として、一千万円を寄附したい。」というとてつもなくありがたい申し出をいただいた。

この御厚情を少しでも大きく生かし、後々まで伝えていくために、一切を一任された校長としていろいろと思考した。仙台金港堂藤原社長は前任校宮教大附属同窓会長さんでもあったので、訪ねて詳細を話し、格安で図書の購入ができるようになった。また、図書の選定に当たっては、宮教大学長の横須賀先生に相談し、仙台で実績を上げている狩野先生を紹介していただき、大いに助けていただいた。これが「菊水文庫」の始まりである。菊水とは、清水賢作さんの「水」と旧姓菊地の「菊」を組み合わせたものである。聞くところによると、金成小では、「読書祭り」を大切な学校行事の一つとして毎年実施されているとのこと、当事者だった一人として嬉しいことである。同窓生の寄附といえば、旧金成小の校舎と桜を描き、河北展特選となった大作を贈られた、気仙沼出光石油所長のことも忘れられない方である。旧満州で捕虜となり、シベリヤ移送中に脱走し2年後に半死半生で帰国され、出光興産の戦後の草創期に大活躍され、気仙沼の石油施設一切を無償贈与された方である。

※出光石油の草創期については、「海賊と呼ばれた男」百田尚樹著を一読されたい。



菊水文庫（平成7年度設立）

子どもたちに助けられた講話

第49代校長 後藤 才治

単身赴任の長かった私は、常々ふるさとの地で栗原の教育に携われることを強く望んでいました。平成9年に念願がかない、歴史とロマンの町・伝統ある金成小学校に迎えていただき、うれしく光栄に存じました。

しかし、実は小学校勤務は初めて。小学生に私の話が分かってもらえるだろうかと不安に駆られ、行事や朝会では導入の工夫や言葉選びに気をつかいました。

初年度の入学式では、自分の稚拙な絵を提示し、「あいさつ」について語りかけたところ、新入生26名の反応は大きく、私は、余計な言葉を発する必要はなかったのです。

ある朝会では、初めて担任した教え子から送ってもらった南極の氷を見せました。低学年にはちょっと難しかったと思いますが、つい、地球温暖化のことまで口にしてしまいました。ところが140名の全校児童は静かに真剣に聞いてくれました。朝会后一列に並んで、一人一人が氷をなでていきました。その部分が手の温もりでくぼんでいくのが分かりました。惜しい気もしましたが、興味・関心をそがないよう、そして真剣に話を聞いてくれた褒美にと思いました。とにかく子どもたちに助けられた校長講話でした。

ともあれ、定年までの3年間奉職した金成小学校が閉校になるのは寂しいです。在職中は地域の皆様にも大変お世話になりました。

新しい学校が、素晴らしい歴史の始まりとなりますよう祈念いたします。



大久保寮（平成10年度）

金成小学校の閉校に寄せて

第50代校長 佐藤 鐵哉

“我以外皆、我師也”吉川英治の言葉です。教師になってから、子どもたちのつぶやき、仕草の中にハッとさせられ教えられることがたくさんありました。まさに子どもたち一人ひとりが“我が師”となりました。



運動会（平成13年度）

まず、金成小学校での思い出や感想は、最上級生の6年生がお話の聞き方や態度等がしっかりしているため、全校の子どもたち・学校全体が引き締まり、まとまりがありました。私は常々最上級生がピットしていれば学校全体が引き締まると考えています。

そのためには家庭教育を高め合うことと、教職員が互いに連携し研修で深め合って指導力を養い、個々の子どもたちの心に迫っていくことです。金成小学校では、親と教師の連携が子どもたちの姿に発揮されていました。

とくに、陸上競技・水泳大会のため、練習に頑張る子どもたちの姿が印象的でした。また、5年生が金成太鼓で少ない人数で力一杯叩く太鼓の協和音の素晴らしさに感動しました。

それから、業間時の縦割りグループでのけやきっ子リレーや子どもたちが校庭一杯になって手を取り合い一輪車の練習に励む姿が目につかびます。金成小学校は、子どもたちをとりまく環境は整っていました。

東館、白山神社、炭焼き藤太の墓等、歴史遺産の豊富な地域金成。その金成地区内の小中学校が一貫教育校として新たな歩みを始めるとは、歴史的・教育的に意義があると思います。大いなる発展を祈念致します。

金成小学校の閉校に寄せて

第51代校長 小野寺 俊子

4号線から金成の町に入ると、ホントにうっすらと雪が積もっていました。金成小学校の新校舎へ引越しの朝の事でした。

早いもので、あれから20年は過ぎているでしょうか。金成小学校へ二度目の赴任です。「子どもたちは、どんなに変わっただろうか。校舎は？」という思いで学校に向かいました。着くやいなや「おはようございます。」という元気なあいさつ。「やっぱり金成小学校の子どもだ。」と嬉しくなりました。

児童数は他校同様に少なくなりましたが、何をすることも皆で考えを出し合い、助け合う毎日でした。休み時間には元気に校庭に飛び出していき、クラスの友達だけでなく、高学年の子が低学年の子と縄跳びで遊んであげたり、竹馬や一輪車の乗り方を教えてあげたりとよく面倒をみてあげていました。



また、PTA主催の「まっすぐネット」は行事の中でも人気がありました。子どもたちが夢中になって準備に取り組む様子を見ているだけで、その楽しさが伝わってくるようでした。子どもたちの健全育成を目指したこの行事は、PTAの方々子どもたちはもちろんのこと、旧金成町の住民全体をまきこんでの行事でした。

より良い子どもを育てるために、PTAの方々をはじめ、住民の皆さんのお力添えをいただいていることに、あらためて感謝申し上げます。

まっすぐネット（平成16年度）



子どもを中心に 夢に向かい 共に歩んで

第52代校長 鎌田 清

栗駒山の頂上に立つと天空は真っ青で眼下は四方八方が雲海、その頂で「山のいぶき」の全校合唱、「岩手県南宮城県北地震」の前年の全校登山、栗駒山をバックに田園の中を走るくり電は今はなきふるさとの心の風景である。廃線になる年の全校遠足は、そのくり電に乗って回り、崩壊前の栗駒山が見えた。

翌年の全校遠足は、蓮の花咲く世界一の伊豆沼で、船に乗って蓮の間を回った。冬の白鳥やガンの飛来を想像しながら。

私の手元には常に2枚のDVDがある。2度の公開研究会実践記録である、全国に発信する「表現」の自主公開で多くの参加者が子どもたちの姿に感動して涙を流し、熱く教育を語り合う研究会となったものである。すべての子ども一人一人が主役で、どの子ども堂々と意見を発表し、歌い、運動し身体表現したものであり、今もこの子どもたちの姿と学校のことを口にしている人が多くいる。

子どもたちに力強く生きていって欲しい、ふるさと栗原を心に持ち続けて欲しいと願ったことの一つの実践である。ここには教師集団の願いと、それを理解する保護者と、支援してくれた地域の方々が出て来たことである。当時のPTA会長の石川和彦さんは「学校に来る度に、確かに子どもたちが成長していることが実感できる。」と話されていた。子どもが輝き、先生と保護者が心を通わせ、地域が学校に支援し、共に生きる学校の姿があったと感謝しながら振り返っている。

全校遠足



金成小学校での思い出

第53代校長 高橋 啓悦

私は平成21年4月から3年間、金成小学校に勤めました。目があまり良くない私は車の運転をやめて、自宅から徒歩と電車による通勤でした。自宅を5時40分に出て、2時間30分かけて学校に着きます。冬場はまだ星がきらめく暗いうちから家を出るのですが、素直でめんこい子どもたちが待っていると思うと苦にはなりません。むしろ毎日が楽しみで遠足みたいなものでした。

子どもたちは、学習に対してはもちろんのこと、学習発表会などの行事や陸上大会や水泳大会に向けても、前向きに頑張る子どもたちばかりで、とてもすばらしい学校でした。

また、子どもたちは本が大好きでした。金成小学校を卒業した先輩からの高額な寄付もあり、図書室や教室・廊下にたくさんの本が並び、本を読む環境が整っていました。また、子どもたちは本を読む習慣がしっかりできていましたから、読む子どもで年に200冊、年平均でも一人100冊は読んでいました。本に接することで、子どもたちは豊かな知性と表現力が自然と身に付き、作文や絵・工作が驚くほど上手で、いつも感心していました。

いよいよ26年4月から、小中一貫教育校の新しい金成小学校としてスタートします。

夢に向かい自己実現のために子どもたちが生き生きと学ぶすばらしい学校にしていってほしいと願っています。

避難所で交流演奏（平成22年度）





成人タイムカプセル

菅原 一郎

昭和46年生まれの娘が、金成小学校6年生の卒業記念に「成人タイムカプセル」を作った。全員で友達・自分や家族に思いを込めた夢や希望をたくした大切なものであったそうだ。

やがて成人、真夏の成人式の当日、同級生全員が一生懸命に校庭の片隅を「くわ」・「シャベル」で汗だくになりながら真剣に探したが、発見されることはなかった。今も校庭の片隅で静かに探してくれる日を待っているかもしれない。

ある日の夕方「お父さん、場所はこの辺あたり」と言ったことを思い出す。

その娘も今は、42歳になった。

金成小学校の閉校に寄せて

二階堂 勝雄

私は現在、金成歴史民俗資料館になっている校舎で、50年前に6年間学びました。全校400人の児童で、けやきのある校庭での運動会、学芸会、そして校庭を走り回った楽しい思い出が沢山あります。

現在の小学校には娘、孫がお世話になりました。孫たちが通っていた時は、運動会、学習発表会には毎回、そしてファルコンズの大会には応援に、自分の通った時以上の思い出のある小学校です。誰もがいろいろな思い出の多い小学校、141年の歴史に幕を閉じるのはさみしい感もありますが、これからの時代を担う児童にとって、小中一貫教育校で金成全地区の児童が学べるというのは、嬉しく頼もしく思えます。

これから一貫教育校で学ぶ児童の皆さんにエールを送ります。



木の温もりに包まれて

北山 祐子

小学校時代を振り返ってみると、校庭の真ん中に堂々と存在しているケヤキの木と旧校舎で過ごした日々の思い出に溢れています。

ケヤキの木は、恰好の遊び場でした。そして空洞になってもなお青々とした葉を茂らせる様子に、生命の力強さを感じたものです。また、木造の旧校舎の摩り減って丸くなった階段や手すりの感触、床掃除の大変さ、だるまストーブの周りで過ごした事…どれも心の奥底に温かく根付いています。

141年の歴史に幕を下ろす事に寂しさはありますが、これからの子どもたちには誇りをもって新しい歴史を紡いでほしいと願うばかりです。





パワーをもらって



奥州金成雅太鼓（平成 22 年度）

菅原せつ子

あれは 20 年も前だったか、伝統芸能として残そうと、仲間と始めた創作和太鼓、奥州金成雅太鼓。女性だけのグループが結成されました。学校の体育館で練習していたある時、「子どもたちに教えてもらえないか」と提案をいただき、それが今や子どもたちを通して引き継いでもらっている。嬉しい限りです。5 年生になるのがとても楽しみにしている様で、私自身もワクワクしている自分がいるのが不思議。今年も子どもたちから元気のパワーをもらって頑張ってみるか。でも、あつという間の 20 年だったな。

最後に子どもたちに教えるきっかけを作ってくくださった中村先生に感謝申し上げます。

金成小学校閉校に寄せて

川股 貞

私は昭和 36 年に入学しました。入学前年には集団生活に慣れる目的で設置されていた幼児学級というものに通いましたが、そこで出会っていたより倍の同級生がいて驚きました。

正装の親と子どもたち、集合写真は初めての経験でした。チューリップやパンジーなどの洋花を見て感動したのは校庭の花壇でした。

どっしりとした校舎、真中に大木の樗が聳える校庭、金成小学校で過ごした 6 年間は、現在の記憶は怪しくとも鮮明に脳裏に刻まれています。台畑の新校舎との繋がり、PTA 会員として 18 年間に及びました。子どもたちも其々の思いを抱き卒業生となったと思われま。

新しい小学校がこれからの子どもたちの掛け替えのない母校となりますよう願っています。

金成小学校の閉校に寄せて

後藤みえ子

金成小学校が長い歴史の幕を閉じるということを知り、旧金成小学校の近くに栗原農業高校の分校や幼稚園、登記所があったことを思い出します。

放課後になるとバレーボールや野球部の部活動をする高校生と、校庭で遊ぶ小学生が校庭を共有し、にぎやかな声がこだましていました。やがて栗原農業高校の分校も幼稚園も登記所も無くなり、小学校だけになりました。そして、小学校も台畑に移り、子どもたちの声がすっかり聞こえなくなりましたが、木造の古い校舎は資料館として残り、樗の木は今でも大きな枝を広げています。

この樗の木から、春から初夏にかけてのある時期に、今でも毎年、夜になるとフクロウの声が聞こえることをご存知でしょうか？



栗原農業高等学校金成分校と柔道場（昭和 40 年代）

我が思い出の金成小学校

中村 庄樹

私は、旧金成小学校の木造校舎（現歴史資料館）を卒業しました。現在も残る大きなケヤキの木の周りで、ビー玉やスタンコ（メンコ）などをして、毎日遅くなるまで遊んでいました。冬は「だるまストーブ」を囲んでの勉強。温飯器に入れて温めた弁当とストーブで温めた牛乳など、あの当時の思い出と一緒に懐かしい香りがよみがえってきます。

現在の金成小学校には、平成4年から7年間勤めさせていただきました。明るく元気な子どもたちとの思い出は、白山神社での野外炊飯や祖父母参観での餅つき、近くの畑でのそり遊び、そして「みやび太鼓」など楽しいことばかりです。娘の卒業式と一緒に歌った校歌がもう歌われなくなるかと思うと寂しいですが、新生金成小学校での新しい歴史を一緒に作ったみんなで築いていくことを願っております。



白山神社での野外炊飯（平成4年度）

金成小学校の閉校に寄せて

酒井 貴浩

閉校記念誌に寄稿する機会をいただき、当時のことがとても懐かしく思い返されます。なかでも思い出深いのは、運動会です。徒競走では裸足になってゴールを目指しました。鼓笛隊ではみんな一丸となって練習しました。全校児童、先生方、保護者の方々全員が輪になり金成音頭も踊りました。最後の競技の1年生から6年生のたて割り班による全校リレーでは、みんなでバトンを一生懸命繋ぎました。ほかにも花山合宿の夜に炎を囲みマイムマイムを踊ったことや、マラソン大会で苦しかったことなどどれも大切な思い出です。



運動会での鼓笛隊パレード（平成3年度）

自身の卒業から20数年が経ちましたが、わが子2人も8年間金成小学校でお世話になり、今度は親として小学校に関わらせていただきました。そんな金成小学校が閉校になるのはとても淋しいことですが、たくさんの経験や思い出をいただいた金成小学校に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

金成小学校の閉校に寄せて

熊谷 金午

私たちが金成小学校へ入学したのは、昭和16年の春でした。総勢65名を超える大人数で、校庭には大きな樺の木がドッシリと腰をおろしている。また、校舎は明治の建物で正面にはバルコニーのある素晴らしい校舎でした。また、大正に建立された新校舎がありました。我々は新校舎の1階の一つの教室に60名を超える児童で、すし詰め状態だったと思います。校舎の1階は、大きな行事のある時は教室の境の壁を外すと大きなホールになりました。この仕事は高等科2年の大きなお兄さんたちの仕事だったと思います。

昭和16年に戦争が始まり、物資の少ない生活で配給制度でした。何か物資が入るとクジ引きでした。小学校4年生の時に畑分校より、10名を超す友達が加わり、初めて二つのクラスに分かれた様な記憶があります。毎日の様に空襲があり、空襲警報の発令、殊に細倉鉱山を目指して飛行機が飛んで、帰りには我々の頭上を通過する度に発令されたようでした。我々も遊ぶことといえば、戦争ごっこという勉強どころでない毎日でした。

先生も男性といえば年寄り？で女性の先生方が大半でした。小学5年の時に終戦になり、校庭には



戦争時に訓練に使われた竹槍や銃剣術等の道具がアメリカ兵の手により焼却処分された時に、担任の女性の先生から、あれを見て「クヤシク」ないのかと言われた時に涙が出て来たことを思い出しました。

戦争が終わり、5年生の時、若い男の先生が赴任してきた時、大きな事件が起こったのです。今までは女性の先生ばかりに指導を受けてきたせい、性に合わなく、山学校を企てたのでした。今で言うなら「集団登校拒否」です。誰が話を出したかわかりませんが、その当時は団結心が強く、すぐにまとまった様で、次の日の朝、新校舎の北側にある日枝神社に集まり、神社の境内の床下に勉強道具を隠して実施したわけです。学校では5年生のほとんどが登校しなかったので、大騒ぎになったようです。父兄も驚いて学校に駆け付けたそうですが、児童は散々伍々に帰ってきて、事の重大さに驚いたという事でした。今でも誰の発案か判らずじまいです。今では大きな問題になったと思いますが、父兄の努力で大きな問題にならずに終わったようでした。今では同級会時には誰彼となく語り草になっています。

我々同級生は団結心が強く、25歳の年祝いから、節々には必ず集まりを企画しています。中学時の卒業には90名を超え、毎回50名近い参加です。一昨年も77歳の喜寿の祝いの同級会にも多数の参加がありました。帰りのバスの中で、女性軍から80歳の同級会開催の声も出ています。

これも、金成小学校の絆が続いていることだと思います。

金成小学校の閉校は寂しいですが、新しい小中一貫教育校の開校に期待しながら筆をおきたいと思います。

日枝神社



旧金成小学校に学んで

鈴木 保

私の学んだ旧小学校は、明治の木造建築で、老朽化はしているが長年風雪に耐え、現在は金成歴史民俗資料館として活用している。

校庭の真ん中には大樹のけやきが、日枝神社へ参道のように並び、根っこに腰かけて描いた図画はもうひとつの教室でした。けやきの周りで遊んだ「したんこ」（めんこ）、ビー玉は勝負が付きもの、笑い声が校舎に響いていたね。

朝一番に遊ぶドッジボールは、家が旧小学校近隣のため、よく場所取りを頼まれた思い出があります。弁当は6人、梅干しとわずかなおかずだったが、母の愛には感謝でした。

生活は楽ではなかったが、夢や希望を抱きながらの水汲み、まき割りは私の役目でした。

小学校での地区民合同運動会、学習発表会は、心温まる良い思い出であり、新しい環境になっても頑張ってください。

「情熱・愛情・感動」の教育をいつまでも

菅原 重悦

我が家では、3人の女の子が金成小にお世話になりました。

三女の運動会の時の事です。親子出場の競技がありました。私たち親は、教職にあつたので、偶然にも勤務先の運動会と重なってしまったのです。三女に「担任の先生に話してね。」と言って出勤しました。帰宅しますと、三女は「久美子先生が走ってくれたの。」と興奮気味に話してくれました。

当時、事務長で畑岡から通勤していた加藤久美子先生だったのです。30年ほど前の出来事なのですが、いまだに忘れる事ができません。感謝、感謝で一杯でございます。

本当に金成小学校ありがとう。さようなら。

運動会（昭和45年度）



夢の跡

高橋 照義

激動の時代、大きく時代が変化する中で、金成小学校が平成25年度をもって歴史に幕を閉じることは、寂しさに胸を打たれます。

明治6年、旧三迫代官所跡に大成小学校が、常福寺を仮校舎に畑小学校が創立して以来141年という長い歴史であります。

開校後多くの卒業生を送り出し、多方面でご活躍されております。また、教育はもとより、子どもたちや地域の皆様の心の拠り所として大きな役割を果たしてきました。思い出しますと近年では、「まっすぐおがすおらほの子どもネットワーク」そして、地区民合同運動会、このことが子どもたち地域の皆様との絆をさらに強くしてきたことと思います。

その役割を終えようとしています。今静かに見守っていきたくと思います。



学芸会（昭和47年度）

金成小学校の閉校に寄せて

鈴木 弘

141年間の見守り、大変ご苦労様でした。子どもたちの学舎として、毎年、初々しい1年生を迎え、頼もしく育った卒業生を送り出していただいたことに感謝いたします。

私は古小（木造校舎）卒業ですが、現在の校舎を訪問したのは、子どもが小学校在学中のPTA活動でした。思い出すのは、通勤途上で考えた「まっすぐおがすおらほの子どもシンポジウム」の名前です。そして、その行事が孫の時代になり「まっすぐネット」として進化していることを知り、大変感動いたしました。

「まっすぐ」は親の願いであり、子どもたちを見守り続けた校舎の共通の願いではないでしょうか。閉校となっても、この精神は生き続けて欲しいものです。



まっすぐネット（平成22年度）

感謝

早坂 周英

私は、昭和50年に入学し5年生途中まで旧校舎（現歴史資料館）に通い、現在の校舎には1年と少し通いました。新校舎へ移った喜びもありましたが、校庭に大きな樺が自慢の旧校舎での思い出が強く残っています。

木造校舎の廊下を雑巾掛けすると、手にトゲが刺さり痛い思をしたこと。そして冬のだるまストーブ。今では考えられませんが、当時は係りの人が早めに登校し、自分で火を点けて教室を温めました。ストーブの周りに置いて温めた弁当が、格別に美味しかった記憶が今でも蘇ってきます。

平成26年3月に小中一貫教育校の開校に伴い閉校する母校金成小学校。2人の我がもお世話になった金成小。改めて感謝の気持ちで一杯です。

本当にありがとうございました。



旧校舎の廊下（現資料館）



金成小学校の閉校に寄せて

藤 広実

金成小学校を卒業し、30年が経過しようとしています。私は、木造の旧校舎に1年間だけお世話になりました。授業中に犬が教室に入ってきて昼寝をしていたこと、2階でこぼれた牛乳が1階にポタポタ落ちてきたこと、薄暗いトイレに幽霊が出ると騒いだこと、そして大きなケヤキのもとで元気いっぱい遊んだこと。思い出は今でも私の宝物です。

嬉しいことに、私の子どもたちも金成小学校にお世話になり、たくさんの思い出とともに卒業しました。141年という長い歴史の間、いったい何人の子どもたちを送り出してきたのでしょうか。今まで優しく見守り育ててくれた金成小学校、先生方、地域の方々、本当にありがとうございました。そして、新校舎で学ぶ子どもたちの健やかな成長を祈念致しております。



集合写真（昭和47年度）

思い出は永遠に…

菅原 正博

金成小学校で過ごした6年間は、私が教員を目指そうと思った原点の場所であり、思い出多き時間だった。

当時の私は、友達や先生を困らせるなどやんちゃな時代を過ごしていた。私が2年生の頃、友達をからかい低学年用のトイレに逃げ込んだとき、友達が勢いよくドアを蹴り、穴を開け、担任の先生や校長先生に怒られた思い出がある。私にとってここで過ごした日々は、良いも悪いもすべてが良き思い出である。

もうすぐで、金成小学校は閉校となってしまおうが、ここで過ごした思い出は永遠に残り続ける。これまで支えてくれた家族、地域の方々、先生方、仲間たち、そして、我が母校、金成小学校に感謝をしたいと思う。ありがとう。そして、お疲れ様。

私の思い出

金野 栄悦

私が金成小学校のPTA会長をしたのは、昭和39年度から同41年度。当時は、児童数約500名、教員数12名位でした。また、越境入学が喜ばれて、旧若柳町有賀地区から約10名位の入学がありました。

校長は、第39代の千葉英雄先生、第40代の熊谷輝雄先生でした。熊谷校長は、地元出身の校長として、当時、栗原郡内に数校しかない小学校用水泳プールの設置に尽力されました。まだ、子どもたちに井戸水を飲ませていた頃なので、プール設置には水の問題があり、町に働きかけ、簡易水道を引いてもらってからという流れでした。

また、プール設置への県費補助申請に際し、たまたま運よく県教委の保健体育課長に地元出身の佐藤典古先生がおられ、特別なお計らいで申請年度内着工となりました。いろいろな方々に支えられた会長当時の思い出です。



プール竣工（昭和44年度）



**用務員さんありがとうございました**

菅原 伸

私が小学校へ通学したのは、50年以上前の事です。当時は今残っている旧校舎のほかに日枝神社側に2階建ての校舎があり、入学式、卒業式、学芸会の時は下の三教室のしきり戸を外して行っていました。それでも随分広く、また晴れがましく感じました。その二つの校舎の間に用務員さんと宿直の先生の宿舎がありました。

家から愛情溢れる弁当を持って登校するのですが、時々箸を忘れ、用務員さんに借りたり、脱脂粉乳の給食なので、児童みんなで週一回野菜を持ち寄り、味噌汁を作っていたりしました。また、冬には温飯器に炭火を入れてもらい、ほっかほっかの弁当を食べることができました。

このように、用務員さん方には、私たちの身も心も温めてもらい大変お世話になりました。



二つの校舎の間に用務員室と宿直室

小学校の思い出

菅原 洋一

私が学んだ小学校校舎は明治43年に金成尋常小学校として建てられました。木造2階建て、左右対称で正面中央に玄関ポーチを張り出させ、2階部はバルコニーになっています。

擬洋風校舎として和洋折衷法が伝承された建築であり、保存状態が良いので、宮城県指定文化財となり、現在は金成歴史民俗資料館になっています。この校舎には、祖父、祖母、父、私と「親子三代」が通いました。

小学校の一番の思い出は、2年生、5年生、6年生が同じ先生だった事でしょう。成長を見せる事が出来る反面、手の内がわかられ過ぎというのも困りものでした。

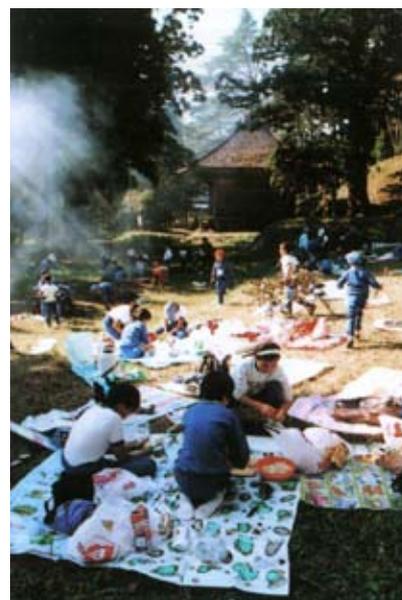
行事等では白山神社での野外炊飯。1年生から6年生までを10組に分け、リヤカーに道具、燃料、材料を積んで小学校から白山神社まで移動。火をつけるや調理は全て児童がやりますので、甘かったり、しょっぱかったり、組によって味が違うのが面白かった。

冬に暖を取るのはダルマストーブでした。2時間目(3時間目?)にストーブの上に鉄鍋の様なのを置き、牛乳を温めて弁当時間に飲んでいました。

休み時間や放課後は校庭にあるケヤキの巨木の根で高オニや陣取り、根から落ちないように遊んだりしていました。

5年生3学期からは新しい校舎での授業です。鉄筋コンクリートの校舎、暖房、バスケットリングのある広い体育館、水洗トイレ等、初めてのものばかりでした。

来年度からは、小中一貫教育校となります。子どもたちには新たな友達、楽しい思い出を数多く残して欲しいです。



白山神社での野外炊飯(平成7年度)



私の思い出

小野寺 美智

私が5、6年の頃熱中していたのが、全国合唱音楽コンクールです。当時担当の先生が私たちに思い出を作ってあげたいとの事で参加したと聞きました。

放課後や夏休みも毎日体育館で練習をしました。私はソプラノのパートをしていました。プールの水が喉に良くないとの事で、夏休み中はプールに入らず練習に励んでいたのを学校へ足を運ぶたびに思い出します。賞をとることができ、みんなで一つのことを成し遂げる感動をこの金成小学校で学ばせていただきました。

今、新しくなる学校への期待と希望を胸に、これから子どもたちが健やかに成長していくことを願っています。長い間ありがとうございました。

私の思い出の金成小学校

熊谷 剛

私たちは昭和13年に生まれました。太平洋戦争の最中に幼児期をおくり、昭和20年4月に金成国民学校に入学。8月終戦で同級生80名の内約5分1は中国からの引揚者や都会からの疎開者でした。

私も中国満州国吉林省叙蘭で生まれ、20年4月の叙蘭国民学校入学。8月終戦でハルピン市へ疎開し、昭和21年12月に日本に帰国しました。まだ父がロシアから帰らないので、母の実家が、花泉村金森で小学2年、3年、4年生の5月に父がロシアから帰りましたので金成小学校に転校してきました。先生は植田茂子先生でした。

私たちは農村でありながら、食料が不足し、ご飯に麦や野菜をいれたご飯でした。衣類は着たきりで、のみ、しらみがわき、学校では駆除のため現在農薬にすら禁止されているDDTを頭から散布する有様でした。低学年の頃は教科書も無く、4年生の時は教室が足らず、校庭のケヤキの、木の下に机を並べての青空教室や、福王寺を借りての授業でした。こうした中でも学校の先生方は、私たちが挫ける事無く、遅く成長するようにと、子ども会の歌を作るなど励ましてくださいました。

私たち同級生で、これから子どもたちが戦争の無い平和な世界が築けるようにと、平成15年11月に「けやき子ども文庫」を送りました。

これからも来年26年4月から金成小中一貫教育校になっても、どうか子ども時代にしっかりと勉強に運動に励んでください。

金成小学校の閉校に寄せて

千葉 宗男

昭和30年小学校入学。中町裏の木造の旧校舎だ。同級生は百人近く。休み時間は校庭で縄跳びや石蹴りなどで遊んだ。運動会は櫓をクルクル回るように走り、野球は狭い校庭でボールを追い走り回った。

朝は何人も一緒に通い、1年上の先輩は、町に入ると足の不自由な同級生を学校までおぶっていった。帰りはいつも道草し、国道そばの鉄鋼場で遊んだり、畑の桑の実を食べて口元を赤黒くして帰った。

冬の朝は田んぼに張った氷をツーツー滑っていった。夏休みは夏川や三沢堤で泳ぎ、朝は竹ぼうきで国道を掃いた。蝉時雨に包まれる木造校舎とケヤキ。少年時代の懐かしい出来事が思い浮かぶ。

今から120年ほど前、鈴木文治もこの校舎で勉強した。弱い立場の労働者の地位向上の為、労働組合法を作ろうと努力した金成上町生まれの政治家だ。

一貫教育校では、文治を育んだ金成の風土を誇りに世界に羽ばたいてほしい。



鈴木文治先生

**心の中にいつまでも**

西島 眞幸

私が学んだ旧金成小学校は、今では金成歴史民俗資料館となっています。校庭の真ん中には、樹齢800年のケヤキが数本あり、いつもその周りで走り回っていたものでした。校舎の正面玄関上には、バルコニーがあり、洋風建築を取り入れた木造2階建ての校舎。冬はダルマストーブで暖をとり、軋む廊下や階段。懐かしい友人の笑顔が今でも思い出されます。

現在の閉校となる金成小学校へは、我が子三人が通いました。様々な行事に参加し、子どもたちの活躍する姿をたくさん見る事が出来ました。その中でも、少年野球の立ち上げに参加し、地域の皆さんと楽しい時間を過ごせたのはとても良い思い出です。

数々の伝統と歴史を積み重ねてきた金成小学校の魂は、場所や建物が変わっても、地域や家族を大切にする思いやりのある子どもたちを育ててくれる事でしょう。

金成小学校の閉校に寄せて

千葉 恒喜

私が金成小学校に入学したのは、昭和53年です。今の資料館になっている旧金成小学校には2年生の途中まで学ばせていただきました。今の金成小学校では、短い間ではありましたが、楽しい思い出が沢山あります。

運動会・修学旅行・学芸会などいろんなことが思い出されます。私は、運動が得意だったので、野球、そして陸上大会で走った事がとても印象深く心に刻まれています。

親子代々お世話になった金成小学校の閉校はとても残念な事ですが、これから小中一貫教育校となり、子どもたちの新たな旅立ちとなります。金成小学校、沢山の思い出、ありがとうございました。



旧金成小学校校舎（昭和44年度）

金成小学校の閉校に寄せて

後藤 勝正

現在の金成小学校には娘が一人お世話になりました。学校にはプールもあり、特に校庭の水はけの良さは定評があり、子どもたちは伸び伸びと勉強や運動に励む事が出来た事、また、大きな事故も災害も問題ごとくもなく過ごせた事は、先生方を始め役員の方、また、サポートする地区民の方々のおかげと感謝するところです。郷里を離れて暮らす娘も今では一子をもうけ、今年小学校3年生。金成小で娘が学んだ事を役立てているようです。

私も近年、小学校行事に参観する機会があり、子どもたちは自分の役割をてきぱきと遂行する様、そして物事の受け答えもしっかり出来て、また、将来の夢もしっかりしていて感動すら覚えました。

いよいよ26年度から金成小中一貫教育校がスタートします。少し不安もあるでしょう。郷土の歴史や小学校で伝承されてきた芸能を存続しつつ、他の歴史も学べるメリットもあるでしょう。今まで学んだ事を助走にして未来へと大きく跳ぼうではありませんか。



畑分校

二階堂 一

昭和29年4月、金成小学校畑分校に入学当時は、保育所、幼稚園は無いいきなり入学、自分は集団生活の経験が無く、クラスメートの前で名前を紹介するのも言葉が出ませんでした。

入学当時には、分校児童数1年生から3年生全員で31名でした。担任の先生は、あのね作文教室の佐藤さだよ先生でした。よく作文、詩を書かせられました。その作文、詩から私が何を話したいのかを察していたのではないのでしょうか。私は、学校の先生は怖いとっていたようです。

でもよく先生は、一緒に縄跳び、鬼ごっこなどをし、それも当時は方言で話すのが普通でした。言葉の綺麗な先生でしたが、先生も方言で話をし思う事が言える子どもにと教えたのではないのでしょうか。

今の自分があるのも先生のお蔭と思います。一つの教室に3年生まで、三組に別々に教える、複々式指導法でしたので、大変な苦労があったようです。ありがとうございました。



畑分校

金成小学校の閉校に寄せて

多田 善英

昭和30年4月、旧金成小学校畑分校に入学しました。分校には佐藤さだよ先生がおられ、複々式学級で、一人で1年生から3年生の約50人の児童を受け持っておられました。

後に先生から当時のお話を伺った事があります。目が行き届かず心配で心配で仕方がなかったそうでありました。50年以上を過ぎた今でも、当時の先生のご苦労が慈愛に満ちたお顔と共に思い起こされます。

現在の金成小学校には、3人の子どもたちがお世話になりました。伸び伸びとした雰囲気の中で、学校生活を送れた事に感謝いたしております。

少子化に伴い、金成におきましては、小中一貫教育校として再スタートすると聞き及びました。新しい環境の元で学ぶ、金成の子どもたちの未来が輝かしいものになる事を願ってやみません。



学芸会の練習 畑分校（昭和26年）



運動会（昭和41年）

なつかしい小学校の思い出

橋本 俊吾

私は、金成小学校畑分校昭和39年入学で、希望と不安を胸に、小学校の門をくぐって50年が過ぎ、今さらながら年月の過ぎる速さを痛感しています。改めて小学校時代を振り返ると様々な思い出が蘇ってきます。

さて、私が入学した畑分校は複式学級という1、2年生12名同じ教室で勉強し、先生が一人で教えるという学校でした。3年生から金成の本校へ自転車通勤といった背景でした。なかでも畑分校時代にはテレビの放映などにも取り上げられ、なつかしさが思い出されます。

金成小（本校）時代には、春の運動会、秋の学芸会、イナゴ取りと。秋の学芸会などは、授業宿題など後回しで必死に台詞を覚えた事、運動会は昼の弁当を食べるのを楽しみに、又、運動会の華である学年、地区対抗リレーともなると大人も子どもも大興奮で運動場に響き渡る程の歓声が沸き起り、お祭り騒ぎのような楽しい一日でした。

今回、141年の歴史の幕を閉じる訳ですが、新統合小中一貫教育校になる事を前向きにとらえ、これからもさまざま歴史を刻んでいってくれる事を願うと共に、無限の可能性を秘めた児童が立派に育ってくれる事をお祈り申し上げます。



**ありがとう、金成小学校**

石川 和彦

私は、小学校1年生の1学期まで畑分校で学び、2学期から現在の歴史民俗資料館の旧小学校の校舎に移りました。畑分校は閉校となり、私は最後の児童でした。

それから40数年、2人の我が子と共に金成小学校にお世話になりました。下の娘が4年生から6年生の3年間、PTA会長としてお世話になりました。先生方、保護者の皆様にお世話になりました。そして我が子を含め子どもたちと共に、時には子どもたちに教えられながら私も成長してきたと思っています。全ての皆さんに感謝です。そして、金成小学校に感謝です。ありがとう、金成小学校。



畑分校閉校式

金成小学校

千田真貴子

金成小学校では、さまざまな思い出があります。

練習した一輪車や竹馬をアトラクションで発表した運動会。竹鉄砲作りなど自他国の遊びや文化を体験したまっすぐネット。タイミングやリズムを合わせ、手に豆ができるほど練習したけやきこ太鼓。大きな自然と触れ合うことが出来た、花山・志津川合宿。学芸会、修学旅行、休み時間や放課後に友達と遊んだ事、授業までもが良い思い出です。

小学校の事を振り返ると思い出は尽きません。その小学校が閉校してしまうのは寂しいですが、再編した小学校に入る子どもたちが、良い思い出、歴史を作る事を願います。

金小の思い出

渡邊 進

私は旧金成小学校に入学しました。木造の校舎で校庭にはケヤキがあり、その周りで鬼ごっこなどをして遊んだのを覚えています。

冬は石炭ストーブで水を沸かして、牛乳瓶を温めて飲んだりしました。6年生の時に今の金成小学校に引っ越しがあり、真新しい新校舎の体育館で最初の卒業式が出来た事が、子どもの頃の一番の思い出です。

我が家の3人の子どもたちも金小にお世話になりました。私もPTAの皆さんとの活動の中で、会長職を2年間務めさせていただきました。先生方、地域の皆様方と過ごせた時間も良い思い出になり感謝しております。

金成小で育った

大槻貴美夏

6年間という長い月日の中に、思い出は沢山詰まっていますが、今思い返すと、3年生の時に行った、細倉マインパークの遠足が印象に残っています。今は廃線となった「くりでん」に乗って行ったので、貴重な思い出です。予定変更してスライダーに2回乗ったのもとても良く覚えています。

また、5年生の時に伝統である「けやきこ太鼓」を練習、発表しました。練習はとても大変でしたが、クラス全員で息を合わせ演奏する事が、とても楽しく気持ちの良いものだなと思うことが出来ました。

金成小学校は閉校してしまいましたが、思い出は消えません。新校舎となっても新たな思い出を増やして行ってほしいと思います。141年間、お疲れ様でした。





金成地区航空写真（昭和48年度）

小学校の思い出

二階堂利巳

昭和10年4月、金成小学校1年生、教室は南旧校舎正面玄関の左側で55名がクラスでした。正面玄関右側に日本海軍が使用した魚雷が展示され、常に良く磨かれ光っていた。その上に馬上乗りとなって遊ぶ、先生に何度も叱られる暴れん坊の1年生だった。

私は楽しい運動会、けやきの木の間を走るトラックコース、中央のけやきの下では、楽隊の一行、クラリネットにアコーディオン、大太鼓の賑やかで勇ましい演奏は活気が湧く。玄関2階のバルコニーは来賓の観覧席で、応援の拍手が湧いてくる全校児童500名バンド付きの大運動会は学校の楽しさを教えてくれた。

寒い冬が来た暖房は、木製の大きな箱火鉢、用務員さんは炭に火を入れてくれる。しばらくして火がおきる。小さな手を伸ばして暖をとる。あかぎれの小さな手が痛む寒い冬だった。80年前の思い出である。

金成小学校の閉校に寄せて

高橋 光治

私は、金成小学校PTAに2人の子どもと共に、昭和62年から平成6年まで8年間お世話になった。その中に一番の「思い出」として残っている「宝物」がある。それは、学区内通学路に10枚程掲示の看板です。

平成元年頃、PTA役員で作った看板。材料はJRの駅名入り廃材利用です。今日までの25年間、金成小学校の子どもたちの「おはようございます。」や「さようなら。」の元気な挨拶の声が続いている。歴史ある学校は統合でも、あいさつ看板は私の地域で“永遠に不滅”ですね。元気に育つ子どもたちの“さわやかな声とともに…”

あいさつ看板



さようなら、金成小学校

近藤 克夫

私は、昭和47年度の卒業生です。当時の校舎は、現在の資料館です。資料館として残っている建物の北側に、トイレ、用務員室に続いて、2階建ての校舎がありました。どの学年も30名から40名の一クラスずつでした。児童数が減少してきたようで、空き教室が多く、二教室つなげた体育室もありました。

校庭の真ん中にはけやきの木、北側には栗農の分校があり、狭い校庭でリレーの練習をしていました。けやきの木はみんなの遊び場で、鬼ごっこやかくれんぼなどをよくしました。大きく開いたけやきの木の穴におっこをして、先生に怒られた悪ガキもいました。

思い出多い金成小学校がなくなるのは、とても悲しいですが、新生金成小学校が新たな歴史を作っていくことを願っています。



金成小学校の閉校に寄せて

高橋 一久

私は、昭和44年4月に金成小学校に入学しましたが、その当時は、今の金成歴史民俗資料館が校舎でした。

私のアルバムには、入学式にケヤキの前で母と撮った写真が残っています。また、小学校ではケヤキを囲んでの運動会や、冬になるとだるまストーブで牛乳を沸かしたり、教室の後ろで温飯器で弁当を温め、たまに、教室中異臭が立ちこめていたことを思い出します。また、6年の夏には学校でキャンプをし、教室に蚊帳を張って泊まったことも良い思い出となっております。

私の場合、卒業から40年経っても校舎を見ると楽しい思い出が浮かんできますが、これから先、今の小学生にも何かしら、思い出への入口の場があればいいですね。



だるまストーブのある授業風景（昭和44年度）

思い出の金成小学校

佐藤 恵

振り返ると私が金成小学校を卒業して、早いもので27年の月日が流れていました。

当時の一番の思い出は、全国合唱コンクール参加のために、暑い夏休みの間、みんなで毎日猛特訓した練習が今でも思い出深いです。とにかく、先生の指導も厳しく、何度やめようかと思いましたが、みんなでやり遂げた達成感は今でも忘れられません。

現在は2人の娘もお世話になりまして、たくさんの思い出をもらった金成小学校が閉校すると聞いて本当に残念ですが、今までのたくさんの感動や学んだ事を忘れずに、これからの生活に活かしてほしいと思います。

最後に、お世話になった先生方、地域の皆様、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



旧校舎航空写真（昭和48年度）



ありがとう、そしてさようなら

金野あすか

金成小学校が閉校すると聞き、正直かなりショックでした。少子化という事もあり、仕方がない事だと思いますが、自分の通っていた学び舎が無くなってしまふというのは、寂しいことですね。

6年間通った校舎、毎日歩いた通学路、一緒に楽しいことも悲しいことも共に経験してきたクラスメイト、遊びも勉強も沢山教えてくれた先生方。思い出がいっぱい詰まった6年間で振り返ると、一言では言い表せない事ばかりです。伸び伸びと生活出来たのも地域の方々や家族の支えがあったからこそ、楽しく毎日過ごしていかれたと思います。



運動会（平成3年度）

これから新校舎で過ごしていく子どもたちにとっても、楽しい事がいっぱいの良い思い出が沢山残るような学校であってほしいと思います。新しい金成小学校に今後も期待しています！閉校してしまう金成小学校、長い間お疲れ様でした。ありがとうございました！！

金成小学校

二階堂誠也

私は現在20歳で卒業してからもう約8年経過しました。

現在は一関高専にて、ロボコン部の部長として生真面目にロボット作りに取り組む日々を送っています。

今の私があるのは、金成小学校の先生方に様々なことでサポートして頂いたことが大きいです。引っ込み思案であった私が、委員会のトップになったり、ものを作るクラブ活動にて積極的に参加出来たりと先生方にサポートし、指導して頂いたことで行動出来たことが多かったです。目標に向かって努力することも6年で学び、今もなお怠ってはいません。そのおかげもあり、平凡な成績からなんとか高専に入学し、好きだった物作りの道に進み、規模の大きい部活で部長なんてことをしております。

思い入れが強いところだったので残念ですが、今年で金成を離れることになるので、廃校前に一目見てから行きたいと思います。ありがとう、金成小学校！！

金成小学校の思い出

小野寺綾音

私は金成小学校の2010年度卒業生です。金成小学校の6年間は私にとって、かけがえのない思い出です。金成小学校は地域の方々との交流が多く、いろいろな活動をしました。蛍の生態を学んだり、けやきっ子太鼓をしたり、まっすぐネットでは昔の遊びを体験しました。

私の学年は10人という少ない人数でしたが、クラス全員仲が良く、毎日とても楽しく過ごしていました。6年間の思い出はたくさんありますが、クラスの仲間と一緒に過ごした事が一番の思い出だと思います。

今年度で141年という長い歴史に幕を閉じる金成小学校ですが、金成小学校での思い出をこれからも忘れずにいたいと思います。



けやきっ子太鼓（平成22年度）





ありがとう金成小学校！ ～金成小の最高の思い出！～

1年生

ぼくの1ばんのおもいでは、うんどうかいです。かけっこで足がつりそうになったけど1とうしょうになれたので、うれしかったです。つなひきで2かいかってうれしかったです。

わたしの1ばんのおもいでは、プールです。はじめは、水にもぐれなかつたけれど、およげるようになりました。プールの中でさかだちもできるようになってうれしかったです。

えんそくがたのしかったです。こんちゅうかんで、たくさんを見たことのない虫がかざられていました。生きているカブトムシもいました。たのしかったです。

がくげいかいがたのしかったです。とてもきんちょうしました。でも、きちんとせりふをいえたのでよかったです。わたしは、むねがどきどきしました。

えんそくがたのしかったです。こんちゅうかんにいって、見たことのない虫を見ました。白鳥も見ました。ローラーすべりだいをすべってたのしかったです。

ぼくは、えんそくがたのしかったです。しょうぼうしょの中は、いろいろなきかいがあって、すごいとおもいました。いろいろなところに行ってとてもおもしろかったです。

わたしは、えんそくがたのしかったです。フートピアこうえんのローラーすべりだいにのりました。スピードが出てちょっとこわかつたけれどおもしろかったです。

みんなでいもほりをしたことがたのしかったです。でっかいもがとれました。とてもおいしかったです。またみんなでいもほりしたいです。

まっすぐネットが、おもしろかったです。ぎゅうにゅうパックでおばけをつくったり、ゲームをしたりしました。ながいのりまきもたべました。

2年生

ぼくの一番の思い出は、1年生の時の遠足で「あいぼーと」に行ったことです。大きいちすやマグネットがありました。中でもよかったのはてんぼうだいです。ながめがいいです。

ぼくの一番の思い出は、2年生で遠足に行ったことです。しょうぼうしょやこん虫かん、長ぬまフートピア公えんに行きました。長いすべり台が楽しかったです。また行きたいです。

一番の思い出は、2年生の遠足です。1年生といっしょに行きました。こん虫かんでビデオやいろんな虫を見ました。ビデオのところには、でっかい虫がいました。楽しかったです。

わたしの一番の思い出は、図工のべんきょうで、「光のプレゼント」を作ったことです。わたしは、ニッコリマークをいっぱい作りました。ながれ星も作りました。楽しかったです。

ぼくの思い出は、2年生の遠足です。フートピア公えんで長いすべり台にのったことが楽しかったです。こん虫かんで、こん虫も見ました。バスにのったことも楽しかったです。

わたしの思い出は、ドッジボールで友だちをたおしたことがうれしかったです。なげ方がもっと上手になったら、もっともっとたくさんの人をアウトにしたいです。

3年生

ぼくが一番の思い出は、遠足です。いろいろなところに行ったり、体けんしたりしたのが楽しかったです。今年は、科学館に行って、たくさん体けんをしました。新しい学校でもいろいろがんばります。

ぼくは、運動会が一番の思い出です。ぼくは、ときょう走ではじめて1位になりました。うれしかったです。リレーとつなひきは、負けてしまいました。新しい学校でもがんばりたいです。

ぼくが一番の思い出は、3年生の遠足です。理由は、遠足で用があるときにしか行かない仙台に行けたのでよかったです。仙台に行って、一番楽しかったのは、科学館に行ったことです。また行きたいです。



わたしは、プールおさめが一番の思い出です。理由は、クラスで一番速く25メートルを泳いだからです。そして、わたしは夏休みにプールに15回以上行ったので賞状を3回ももらいました。

ぼくは、運動会が一番の思い出です。つなひきで、赤チームも白チームも1回勝ちました。ぼくは、「運動会のためにこのくつを買ってもらったんだ。」と思うと、力がわいて、勝てたのだと思います。うれしかったです。

ぼくの思い出は、まっすぐネットです。理由は、自分でめんこを作ったり、輪投げをしたりして、いろいろな遊びができたからです。とんじるややくそばもおもしろかったです。みんなで楽しくすごせました。

ぼくは、学芸会が一番の思い出です。3、4年でげきをしました。他にも、あまちゃんのオープニングテーマの合そうや全校合しょうをしました。みんなできょうかしたさいごの学芸会はすごく楽しかったです。

ぼくは、3年生でやったげきが一番楽しかったです。「ほんとうの宝物は」とあまちゃんの合そうをしました。げきでよかったことは、アラマア共和国でお客さんがわらってくれたことです。

まっすぐネットが一番の思い出です。理由は、今年は、おいしいのりまきやいろいろな遊びがあったからです。1、2年生のときよりも楽しかったです。そして、さいごのまっすぐネットだったからです。

わたしは、入学式が思い出です。はじめて金成小学校に来たときは、ようち園とはちがって広くてびっくりしました。そのときは、じしんで体育館ではなかったけど、ことばの教室でできたので良かったです。

4年生

ぼくが一番の思い出は、3年生の時の遠足で、マリンピアに行ったことです。熱帯魚やアシカのショーを見たのが楽しかったです。遊らん船に乗って、カモメにたくさんえさをやったのも楽しかったです。

一番の思い出は、学芸会です。3・4年生は、「本当の宝のものは」の劇をしました。わたしの役は、アセミドロ国とニコニコランドです。最後の学芸会で、みんなで力を合わせて、上手にできたので、よかったです。

わたしが一番楽しかったことは、学芸会です。劇「本当の宝物は」で、わたしは審査員の役をしました。緊張はしていただけれど、最後の学芸会だったので、「頑張ろう」という気持ちで一生懸命やったので、最高のステージになりました。

わたしが一番の思い出は学芸会です。わたしは、ガメツキランドという役をしました。わたしは、ドレスを持ってきました。すごく緊張しました。でも、心に残る最高のステージにすることができました。うれしかったです。一生忘れられません。

ぼくが一番の思い出は、遠足です。最初に仙台の警察署に行きました。その後、地下鉄で台原森林公園に行き、お弁当を食べました。午後から、仙台市博物館でいろいろな実験をして、バスで帰りました。楽しかったです。

ぼくが一番の思い出は、学芸会です。本番では、お客さんがいっぱいいて緊張しました。ぼくは、アラマア共和国の役になりきって演技したら、お客さんがいっぱい笑ってくれました。とてもうれしかったです。

わたしが一番思い出に残ったことは、学芸会です。お客さんの前に出るのは、とても恥ずかしくて声も震えたけど、ステージに上がって演技が終わったとたん、ほっとしました。合奏も合唱も少し恥ずかしかったけど、上手にできたので良かったです。

わたしの金成小学校での一番の思い出は、学芸会です。合奏で、「あまちゃんのテーマ曲」と「オーラリー」を、3年生と一緒にやりました。わたしは、ピアノをやりました。頑張って練習したので、本番では大成功でした。とてもうれしかったし、楽しかったです。

一番の思い出は、学芸会で「本当の宝物は」という劇をやったことです。わたしは、ガメツキランドの役を演じました。ドレスを着て、友達と力を合わせて笑いとれたし、最後まで役になりきってできたので、最高のステージにすることができました。





5年生

金成小学校での一番の思い出は、花山合宿です。10人みんなで行きました。花山合宿で一番楽しかったのは沢遊びです。みんなで魚を探している時、卵を見つけました。最後に割ってみると普通の卵だったのでびっくりでした。いい思い出ができました。

金成小学校での一番の思い出は花山合宿です。花山合宿では焼き板、ナイトハイクキャンプファイヤーなどをやりました。焼き板は、火で板を焼いた後に絵をかくのがうまくいきました。ナイトハイクは暗かったから見えづかったです。花山合宿は楽しかったです。

金成小学校での一番の思い出は体育です。学年や季節によってさまざまな体育をしたことです。その中でも6年生とやったソフトボールです。ヒットも打てたし試合にも勝てたのでよかったです。体育でみんなで楽しく学ぶことができてよかったです。

ぼくの金成小学校での思い出は、5年生の花山合宿です。1日目のナイトハイクは本当に道があるのか分からなかったけど、ちゃんとスタート地点にもどれたのでよかったです。夜に、ねる前にみんなとしゃべったのも楽しかったです。

私の金成小学校での思い出は、毎年5年生でやる太鼓です。私は希望した小太鼓でした。学校行事で3回、他に呼ばれて金成中学校の人たちとたたきました。最初は、まちがえてばかりだったけど、やっていくうちに完璧にできるようになりました。またやりたいです。

僕がこれまで金成小学校で一番楽しかったのは5年生の時の花山合宿です。花山合宿では、10人みんな色んなことを出来たし、夜もみんなで仲良くできたのでよかったです。1日目のナイトハイクでは、ビックリ、ドッキリでゴール出来たのでよかったです。楽しかったです。

金成小学校での一番の思い出は、遊んだことです。毎日野球やサッカーをしました。朝も昼も放課後もやりました。野球では、エラーをしてけんかになったり、アウトかセーフかでもめたりしたけど、次の日は仲直りしてやります。すごく楽しかったです。

金成小学校での一番の思い出は、花山合宿です。特にソトどこオリエンテーリングが楽しかったです。色々と自然の家の周りを周って紙を見ながらどこにあるか探して見つけたときには丸をつけます。見つけられた時はとてもうれしかったです。

僕がこれまでで一番楽しかったことは、花山合宿です。特に沢遊びです。きれいな魚も見れました。次はナイトハイクが楽しかったです。学先生が木のかげにかくれておどかしてきたのでびっくりしました。3番目は焼き板作りです。うまく作れました。色々と楽しかったです。

金成小学校での一番の思い出は花山合宿です。なぜかという5年生ではじめての花山合宿だからです。ナイトハイクでは、リーダーとして先に歩いたのでこわかったです。朝にはおいしいものがたくさんあったので夢を見ている感じがしました。これが一番の思い出です。

6年生

ぼくが一番の思い出は、修学旅行です。みんなでとまったホテルが楽しかったです。食事は豪華で、温泉の時の珍しい光景はおもしろかったです。自主研修で食べたカツ丼は最高でした。金成小でできた思い出は、たくさんあります。金成小、ありがとうございました。

ぼくの最高の思い出は、3年生の時の遠足です。かまぼこ工場見学や地下鉄の乗車体験、博物館の見学をしました。最後に行った公園では、ずっとゴミ拾いをしていました。その帰り、バスが故障してしまい、公園で遊んで待ったことが思い出です。金成小、ありがとう。

金成小の最高の思い出は、修学旅行です。自主研修が楽しかったです。特に、鶴ヶ城会館では、世界でたった一つの赤べこを作れてうれしかったです。ホテルでは、友達とテレビを見たり、おかしを食べたり、しゃべったりしたのが楽しかったです。途中でハブニングもあったけど、楽しかったです。

ぼくの金成小での一番の思い出は、修学旅行です。その中でも、自主研修です。会津武家屋敷で、起き上がり小法師を作りました。その他にも、ホテルでみんなと話したことも楽しかったです。ぼくは、この6年間で、いろいろな経験ができました。今までありがとうございました。





私の金成小の最高の思い出は、修学旅行です。修学旅行で一番の思い出は、五色沼を見たことです。五色沼は、五色の色に変わると聞いてすごびっくりしました。私たちが五色沼に着いたら、すごくきれいで見とれてしまいました。他の色も見たいです。金成小、いつかまた会う日まで…。

私の最高の思い出は、陸上大会です。水泳練習が終わった後すぐに練習が始まったのでつかれたけど、つかれていても練習した成果を陸上大会で出し、7位に入賞することができてうれしかったです。2年間だけ金成小で過ごしたけど、いろんな行事があり、いろんな学年と仲良くなれて最高の学校でした。

ぼくの金成小学校での一番の思い出は、水泳大会です。1年生のころは25mも泳げなかったけれど、今は50mも泳げるようになりました。水泳大会では、いい記録を出せました。金成小学校のめあて「目指せ、自己新！最後まで！」をめあてにがんばってこれたので、これからも、このめあてに向かってがんばっていきたいです。

ぼくの最高の思い出は、修学旅行です。修学旅行では、自主研修が思い出に残っています。特に自主研修で思い出に残ったのは、会津武家屋敷での赤べこ絵づけ体験です。赤べこ絵づけは、あまりうまくいかなかったけれど、修学旅行でたくさんの思い出を作れてよかったです。

私のこの6年間での最高の思い出は、修学旅行です。少しトラブルもあったけど、やっぱり6年間が一番の思い出です。最後の6年生としてがんばってきた運動会や学芸会など、いろいろな行事で力を出し切ってきました。ありがとう金成小。さようなら金成小。

私の最高の思い出は、修学旅行です。みんなと食事をしたり、手作り赤べこを作ったりしました。夜に部屋で友達としゃべったりしたことも思い出に残りました。でもその中で一番の思い出は、五色沼です。すごくきれいだったので、みとれてしまいました。また会う日まで金成小学校。

私の最高の思い出は、花山合宿です。花山合宿では、ナイトハイクが思い出に残っています。特にナイトハイクで思い出に残っているのは、他校の先生が暗いところから出てきたのでびっくりしたことです。すごくおもしろかったです。

私の6年間の最高の思い出は、運動会と修学旅行です。運動会は、徒競走で1位をとれました。リレーでも4位がとれたのでよかったです。修学旅行では、自主研修でずいぶん楽しかったけど、楽しかったです。部屋でのおしゃべりは楽しかったです。金成小学校ありがとうございました。

ぼくの6年間での一番の思い出は、修学旅行です。野口英世記念館では、野口英世の過去がいろいろ分かりました。鶴ヶ城はくもっていたけど、とてもきれいでした。赤べこ作りで色をぬったこともおもしろかったです。これがぼくの6年間の思い出です。

6年間の一番の思い出は、修学旅行です。1日目の自主研修では、会津武家屋敷が一番楽しかったです。ホテルでも寝るときに友だちがダジャレを言っていて、おもしろかったです。帰りもすごく楽しかったです。学校に着いたら、みんなくたくたでした。楽しい修学旅行でした。

私の金成小での一番の思い出は、運動会です。みんなが本気で精一杯がんばって練習して、楽しい運動会になったからです。そして、1年だけだったけど、金成小で過ごしたことは絶対忘れないと思います。これからもこの経験などを生かして、中学校や高校へ行きたいと思います。



学芸会（平成25年度）～自慢の全校合唱



思い出のアルバム



明治30年代の卒業生



体育の授業風景 (大正時代)



消防車を迎えて(昭和12年)



増築落成記念 (大正13年)



金成正ハリストス教会上棟式 (昭和9年)



尋常科卒業記 (昭和9年3月)



集合写真 (昭和35年度)



集合写真 (昭和37年度)



思い出のアルバム



遠足 (昭和37年度)



唱歌コンクール 初めての県大会 (昭和39年度)



プール (昭和44年度)



けやき子ども会合同委員会 (昭和40年度)



授業の様子 (昭和43年度)



クラブ活動 (昭和44年度)



運動会 (昭和45年度)



授業の様子 (昭和45年度)



委員会活動 (昭和48年度)



NHKテレビスタジオ (昭和46年度)



運動会 (昭和47年度)



収穫祭 (昭和49年度)



スキー教室 (昭和51年度)





思い出のアルバム



餅つき (昭和50年度)



たこあげ (昭和57年度)



運動会 (昭和57年度)



鼓笛隊パレード (昭和57年度)



郡音楽祭 (平成3年度)



修学旅行 (平成4年度)



郡体育祭 (平成6年度)



運動会 (平成9年度)



自主公開 (平成20年度)



おさんぽうりり (平成24年度)



あとがき

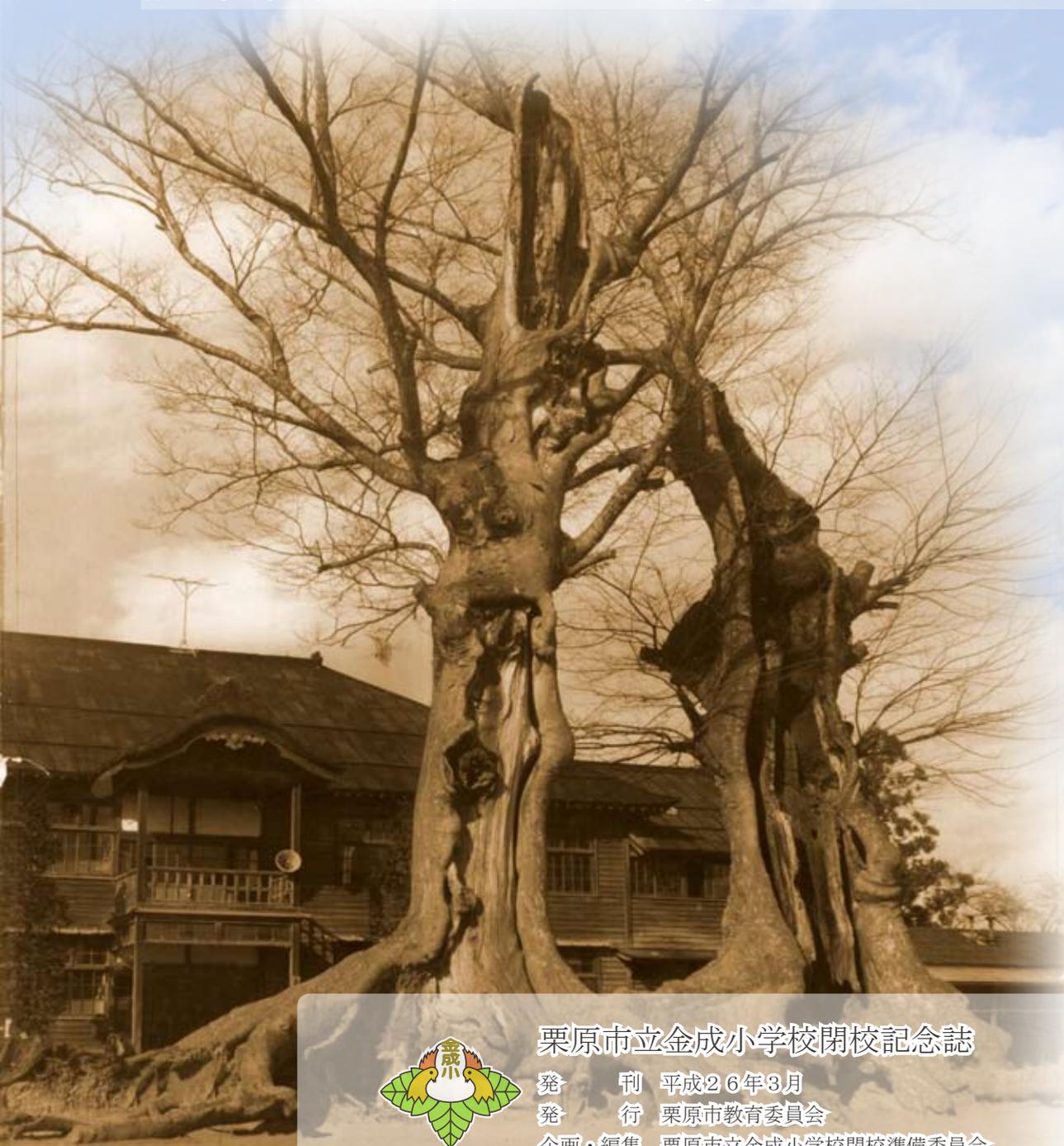
栗原市立金成小学校
教頭 齋藤 了一

この度、本校の閉校記念誌発行にあたり、PTA役員の方々を中心となって、内容と執筆者を検討しました。なるべく多くの方から当時の思い出をお寄せいただきたかったのですが、紙面の関係上一部の方々を選ばせていただきました。御寄稿いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

寄せられました原稿のいたるところから、金成小学校への熱い思いが伝わってきました。それほど、地域と共に歩んできた大きな存在であったと改めて感じさせられました。

平成26年4月からは、金成地区の5つの小学校が一緒になり、新生金成小学校としてスタートします。

地域の皆様には、金成地区の児童が更なる成長をしていくために、今後も温かい御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます、あとがきといたします。



栗原市立金成小学校閉校記念誌

発 刊 平成26年3月
 発 行 栗原市教育委員会
 企画・編集 栗原市立金成小学校閉校準備委員会



